



千葉県立美術館 年報 No.36 平成21年度

April 2009 — March 2010

Annual Bulletin of Chiba Prefectural Museum of Art

目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成 ²² 21 年度主要記事	4
展示事業	5
1 平成 ²² 21 年度アート・コレクション展	6
2 平成 ²² 21 年度企画展 ^{日本から、不破章}	13
3 第 ³⁴ 33 回千葉県移動美術館	14
4 千葉県立美術館 収蔵作品巡回展	15
普及事業 ^{日本から、不破章}	17
1 企画展「 櫻田精三 展」関連事業	18
2 ワークショップ	19
3 実技講座	20
4 学習支援事業等	21
5 活動協力等	22
博物館実習・美術館友の会・ボランティア・複製画の貸出・情報資料室	
調査・収集活動	25
1 平成 ²² 21 年度貸出資料一覧	26
2 平成 ²² 21 年度収蔵資料一覧	27
3 平成 ²² 21 年度新収蔵資料一覧	27
管理運営・使命	29
1 組織	30
2 平成 ²² 21 年度職員	31
3 利用状況	32
4 平成 ²² 21 年度団体展一覧	33
5 施設	35
利用案内	39

ご あ い さ つ

「日本美術史に収蔵作品へお返しに角作さん「人」の思い」

本館は昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様
のさまざまな美術に対する要望にお応えできるよう努めておりますが、この度、平成²²~~21~~年度
の千葉県立美術館における活動の実績を、年報としてまとめました。

平成²²~~21~~年度の展覧会では、企画展として「~~櫻田精一展 生誕100年 響きあう光・水・~~
~~風を描く~~」を開催し、好評を博しました。また、33回目となる移動美術館についてはいす
み市水彩ギャラリーを会場に開催したほか、文化庁の支援を得て、館山市立博物館、木更津市
郷土博物館金のすずにおいても同様の展覧会を開催することができました。本館が収蔵する作
品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品による「アート・コレクション展」を
年間を通して開催しました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術
講演会を開催しました。さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めて
もらうため「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを実施したほか、
学校での出前授業として「出張鑑賞教室」にも取り組みました。また、県民の皆様の美術創作
への意欲にお応えできるよう美術の各分野にわたる実技講座も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、
コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の御指導と御支援をいただけますよ
うお願い申し上げます。

平成23年3月

千葉県立美術館長

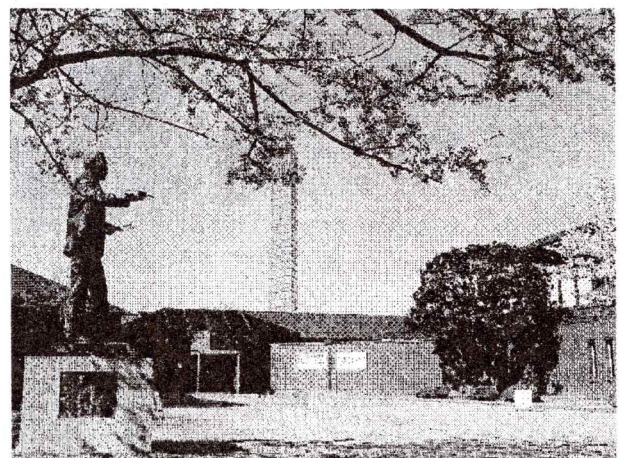
大 熊 一 行

■ 沿革

1969年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）	1978年10月17日	美術普及棟建築予算を計上
1970年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	1978年11月18日	浅井忠像完成除幕式
1970年7月24日	建設地として千葉公園に内定	1978年11月30日	美術普及棟実施設計完了
1970年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）	1979年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
1971年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	1979年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
1971年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	1979年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
1972年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	1980年2月29日	県民アトリエ棟竣工
1972年3月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）	1980年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
1972年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	1980年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
1972年9月21日	展示棟杭打工事着工	1980年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
1972年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	1983年7月29日	美術普及コーナー開設
1972年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1983年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
1973年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	1986年3月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
1973年11月30日	管理棟（第2期工事）の実施設計完了	1986年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
1974年3月31日	展示棟竣工	1986年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
1974年4月1日	千葉県立美術館発足（職員14名）	1986年8月12日	講堂浸水防止工事完了
1974年10月23日	開館記念式典開催	1987年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
1974年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始	1987年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
1975年2月21日	管理棟杭打工事着工	1988年5月20日	受水槽設備改修工事（地上式）着工
1975年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	1988年8月31日	受水槽設備改修工事（地上式）完了
1975年3月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1988年8月31日	展示棟（第8展示室）、収蔵庫（第3、4室）、機械室増築工事完了
1976年2月20日	管理棟竣工	1989年2月28日	増築展示棟周辺芝張り工事完了
1976年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催	1989年4月1日	普及課が新設され、3課で業務実施
1976年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽	1989年4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
1977年3月12日	彫刻の野外展示開始	1989年9月11日	空調機改修工事実施設計完了
1977年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設	1990年6月8日	空調機改修工事完了
1978年1月18日	外構工事として、駐車場拡張（97台）	1990年9月29日	収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事着工
1978年2月21日	美術普及棟の準備会発足	1990年11月7日	室内標識改修工事着工
		1991年1月31日	収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事完了
		1991年2月20日	室内標識改修工事完了
		1991年12月6日	空調用ポンプ改修工事完了
		1992年4月1日	運営の一部が（財）千葉県社会教育

施設管理財団へ委託

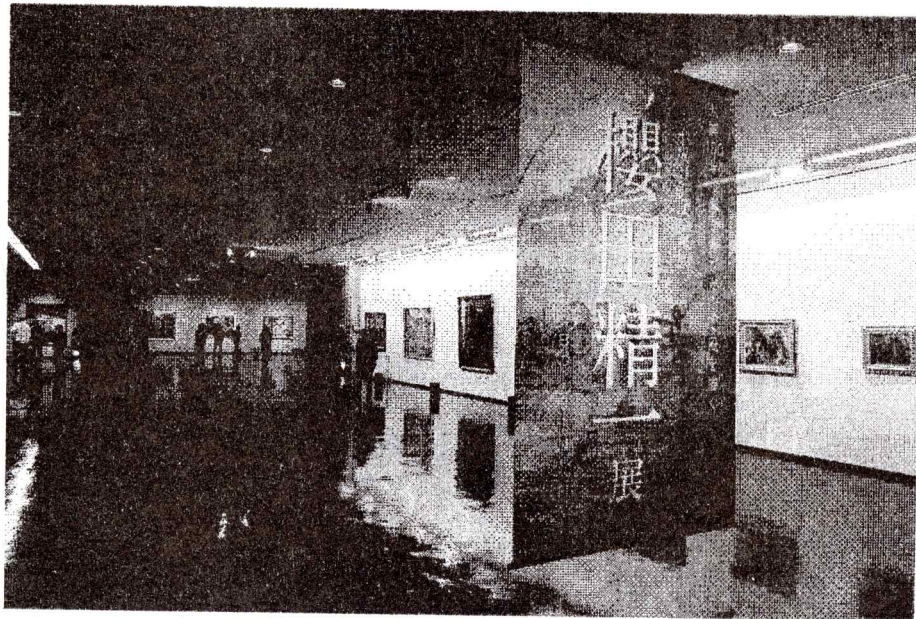
- 1992 年 10 月 20 日 温湿度記録装置改修工事完了
- 1992 年 12 月 18 日 食堂改修工事完了
- 1994 年 7 月 23 日 開館 20 周年記念特別展「房総の美術」を開催
- 1998 年 2 月 23 日 ガス設備改修工事完了
- 1998 年 12 月 24 日 空調設備改修工事完了
- 1999 年 6 月 5 日 開館 25 周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
- 2000 年 3 月 30 日 屋根材剥落補修工事完了
点字ブロック設置工事完了
- 2000 年 7 月 31 日 文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
- 2001 年 3 月 29 日 屋根材剥落補修工事（第 7 展示室）完了
- 2002 年 3 月 25 日 屋根材剥落補修工事（第 6 展示室）完了
- 2002 年 3 月 25 日 非常灯用直流電源装置改修工事完了
- 2002 年 3 月 25 日 防犯カメラ改修工事完了
- 2002 年 12 月 20 日 直流電源装置蓄電池改修工事完了
- 2003 年 3 月 25 日 空調設備改修工事実施設計完了
- 2003 年 7 月 10 日 空調設備改修工事完了
- 2004 年 4 月 18 日 来館者 500 万人達成
- 2004 年 11 月 27 日 開館 30 周年記念企画展「漁民を描く - 渡辺學の世界」開催
- 2005 年 8 月 20 日 空調用インバータ装置改修工事完了
- 2006 年 3 月 21 日 電話装置改修工事完了
- 2006 年 3 月 31 日 アトリエ棟空調機修繕工事完了
- 2006 年 3 月 31 日 (財)千葉県社会教育施設管理財団への運営委託終了
- 2009 年 3 月 31 日 空調設備修繕工事完了



■ 平成21年度主要記事

4月1日	アート・コレクション「木と漆」(～4/26)	(～10/12)
4月1日	アート・コレクション「書の美」(～5/6)	9月3日 実技講座「銅版画講座」(～9/15 日数6日間)
4月7日	アート・コレクション「浅井忠の日本画」(～5/10)	9月5日 アート・コレクション「書に表された自然と人」(～10/12)
4月7日	アート・コレクション「浅井忠・フォンタネー ジとバルビゾン派」(～10/12)	9月8日 アート・コレクション「若木山」(～10/12)
4月14日	アート・コレクション「星襄一」(～5/10)	9月19日 第3回ワークショップ「はんで・あーと」
4月18日	幕張総合高等学校「美術館講座」(～10/10 日数16日間)	10月3日 第4回ワークショップ「モノレールで・あーと」
4月23日	実技講座「陶芸講座(応用)」(～5/24 日数6日間)	11月17日 第32回千葉県移動美術館(いすみ市水彩ギャラリー)(～11/29 日数12日間)
5月2日	アート・コレクション「新収蔵作品展」(～7/5)	11月28日 企画展「櫻田精一展」(～1/24)
5月9日	第1回ワークショップ「つないで～ビッグペ イント・あーと」	11月28日 企画展「櫻田精一展」関連事業 ギャラリー トーク①
5月12日	アート・コレクション「浅井忠の鉛筆画」(～6/28)	12月8日 千葉県立美術館収蔵作品巡回展(館山市立博 物館)(～12/20 日数12日間)
5月12日	アート・コレクション「金工の世界」(～6/28)	12月19日 美術講演会「櫻田精一を語る」
5月12日	アート・コレクション「象嵌の技法 秋山逸 生 鹿島一谷 宮之原謙」(～6/28)	1月6日 千葉県立美術館収蔵作品巡回展(木更津市郷 土博物館金のすず)(～1/17 日数11日間)
5月28日	実技講座「陶芸講座(基礎)」(～6/28 日数6日間)	1月9日 企画展「櫻田精一展」関連事業 ギャラリー トーク②
6月13日	第2回ワークショップ「県民の日・その場で あーと」	1月16日 企画展スペシャルワークショップ 「櫻田精一の世界ーはと・鳩・ハート」
6月30日	アート・コレクション「石橋武治」(～8/2)	1月20日 実技講座「金工講座」(～2/4 日数7日間)
7月4日	アート・コレクション「石井雙石」(～8/23)	1月30日 アート・コレクション アート・セレクシ ョン「コレクション50」より(～4/11)
7月11日	アート・コレクション「こどものための展覧 会ーこどもの情景ー」(～8/30)	1月30日 アート・コレクション「浅井忠・フォンタネ ー ジとバルビゾン派」(～3/31)
7月4日	アート・コレクション「ガラスの彩り」(～8/30)	1月30日 アート・コレクション「モノクロームの版 画」(～4/25)
7月18日	第3回ワークショップ「ガラスで・あーと」	1月30日 アート・コレクション「鶴田吾郎」(～4/11)
7月25日	高校生によるサマーコンサート	2月9日 実技講座「篆刻講座」(～2/26 日数6日間)
7月29日	博物館実習(～8/3 日数6日間)	
7月30日	教師のためのアートガイダンス	
8月4日	アート・コレクション「石井柏亭」(～9/6)	
8月20日	高校生インターンシップ(～8/21 日数2日間)	
8月22日	ホリデーアート「木版画講座」(～8/23 日数2日間)	
8月29日	アート・コレクション「深沢幸雄」(～10/12)	
9月1日	アート・コレクション「東山魁夷」	

■ 展 示 事 業 ■



1 平成21年度 アート・コレクション展

第1展示室(小展示コーナー)

「浅井 忠の日本画」

会期 平成21年4月7日(火)～5月10日(日)

点数 10点 30日間

1	浅井 忠	田植之図	1889
2	浅井 忠	ほしかき	1890～97
3	浅井 忠	琵琶法師	1902～07
4	浅井 忠	盗賊	1902～07
5	浅井 忠	人物風俗図	1902～07
6	浅井 忠	鍾馗図	1903
7	浅井 忠	参詣	1906～07
8	浅井 忠	参詣	1906～07
9	浅井 忠	風俗図(人足図)	1906～07
10	浅井 忠	籠を背負う女	不詳

「星 襄一」

会期 平成21年4月14日(火)～5月10日(日)

点数 12点 24日間

1	星 襄一	雪の玉A	1964
2	星 襄一	星座No.42	1967
3	星 襄一	風景(A)―星月夜―	1970
4	星 襄一	星の森(大)	1971
5	星 襄一	夜明け	1975
6	星 襄一	王の樹	1976
7	星 襄一	青い一列	1976
8	星 襄一	大樹	1977
9	星 襄一	陽(林)	1978
10	星 襄一	野の木(A)	1978
11	星 襄一	枝繁る(赤)	1978
12	星 襄一	枯草の風景(B)	1978

「浅井 忠の鉛筆画」

会期 平成21年5月12日(火)～6月28日(日)

点数 15点 42日間

1	浅井 忠	鍛冶橋	1878
2	浅井 忠	房州白浜	1886～88
3	浅井 忠	房州白浜村	1887
4	浅井 忠	房州白浜	1887
5	浅井 忠	木かげの民家	1902～07
6	浅井 忠	樹	1902～07
7	浅井 忠	桶とせいろ	1902～07
8	浅井 忠	はたらく婦人	1902～07

9	浅井 忠	千石船	1902～07
10	浅井 忠	民家(1)	1902～07
11	浅井 忠	民家(2)	1902～07
12	浅井 忠	農家	1902～07
13	浅井 忠	舟	1902～07
14	浅井 忠	馬二態	1902～07
15	浅井 忠	玉川	不詳

「象嵌の技法―秋山 逸生・鹿島 一谷・宮之原 謙」

会期 平成21年5月12日(火)～7月12日(日)

点数 10点 54日間

秋山 逸生

1	秋山逸生	菱華文象嵌長手箱	1946
2	秋山逸生	蝶貝象嵌箱	1966
3	秋山逸生	木画箱	1969
4	秋山逸生	蝶貝象嵌小箱	1970

鹿島 一谷

5	鹿島一谷	布目象嵌菱つなぎ文南鐙水指	1981
6	鹿島一谷	布目象嵌白鷺四態図水銀注	1996

宮之原 謙

7	宮之原謙	象嵌十字星結晶花挿	1932
8	宮之原謙	象嵌磁盛上花蝶鉢	1938
9	宮之原謙	象嵌磁鉢	1968
10	宮之原謙	象嵌磁サボテン壺	1968

「石橋 武治」

会期 平成21年6月30日(火)～8月2日(日)

点数 11点 30日間

1	石橋武治	火口	1951
2	石橋武治	並木の道	1952
3	石橋武治	白鷺のいる風景	1953
4	石橋武治	筑波遠望	1953
5	石橋武治	水辺	1956
6	石橋武治	水辺の家	1963
7	石橋武治	水辺	1966
8	石橋武治	砂山	1966
9	石橋武治	水辺初夏	不詳
10	石橋武治	利根川	不詳
11	石橋武治	水郷	不詳

「ガラスの彩り」

会期 平成21年7月14日(火)～8月30日(日)

点数 11点 44日間

1	岩田藤七	貝	1974
2	岩田藤七	花器	1974
3	各務鉦三	水指	不詳

4	藤田喬平	流動・牡丹	1967
5	藤田喬平	飾宮・朱雀	1978
6	藤田喬平	飾宮・しだれ櫻	1985
7	藤田喬平	飾宮・琳派	1985
8	岩田久利	花器	1982
9	岩田久利	花器(空色捻文花生)	1993
10	石井康治	彩花文器	1995
11	藤田 潤	風の道	2000

「石井 柏亭」

会期 平成21年8月4日(火)～9月6日(日)

点数 13点 30日間

1	石井柏亭	印度洋上	1911
2	石井柏亭	舟に居る人	1913
3	石井柏亭	晩春行楽図	1938
4	石井柏亭	裏磐梯の秋	1952
5	石井柏亭	舞姫	1953
6	石井柏亭	冬の朝(行徳)	1909
7	石井柏亭	老太々	1919
8	石井柏亭	聖フランチェスコ寺院	1923
9	石井柏亭	安倍川	1936頃
10	石井柏亭	或尼僧	1942
11	石井柏亭	信州風景	1948
12	石井柏亭	印旛沼	1917
13	石井柏亭	佐原	1917

「東山魁夷」

会期 平成21年9月1日(火)～10月12日(月・祝)

点数 4点 37日間

1	東山魁夷	門	1952
2	東山魁夷	春雪	1973
3	東山魁夷	秋深	1975
4	東山魁夷	濤声	1994

「若木 山」

会期 平成21年9月8日(火)～10月12日(月・祝)

点数 7点 31日間

1	若木 山	安房ノ海処女	1951
2	若木 山	三篇刈る信濃の女	1955
3	若木 山	冽	1961
4	若木 山	湧水	1964
5	若木 山	潭	1965
6	若木 山	潜	1966
7	若木 山	池の春	1970

「アート・セレクション コレクション50より」

会期 平成22年1月30日(土)～4月11日(日)

ただし、日本画・水彩画(※)に関しては作品保護のため途中で展示替えを行った。

点数 21点 62日間

1	浅井 忠	漁婦	1897
2	板倉 鼎	金魚	1928
3	岸田劉生	霽れたる冬の日	1917
4	小堀 進	逆光(※)	1974
5	中西利雄	トリエール・シュール・セヌ(※)	1930
6	椿 貞雄	八重子像	1918
7	都鳥英喜	洛北の早春	1934
8	ビゴー	稲毛の女漁師と子ども	1892～97
9	堀江正章	耕地整理図	1901～02
10	ルノワール	少女像	1916～18
11	石井林馨	木華開耶姫(※)	1906
12	石井林馨	桃源(※)	1913
13	若木 山	波上海女図(※)	1953
14	青木滋芳	黒潮	1977
15	香取秀真	鳩香炉	1949
16	津田信夫	一點玲瓏	1917
17	津田信夫	鳳翔薫炉	1937
18	信田 洋	透壺	1928
19	宮之原謙	陶器葡萄彫文壺	1929
20	藤田喬平	飾宮・しだれ櫻	1985
21	高村光太郎	手	1918

途中展示替えした日本画3点・洋画2点

原 勝郎	モンマルトル(※)	1935
石橋武治	筑波遠望(※)	1953
時田直善	崖の観音(※)	1965
酒井亜人	茶室(※)	1953
渡辺 学	夜明け(※)	1976

第2展示室

「浅井 忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期 平成21年4月7日(水)～21年10月12日(月)

点数 19点 158日間

1	浅井 忠	藁屋根	1887頃
2	浅井 忠	小丹波村(6/30～10/12)	1893
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
4	浅井 忠	老母像(6/30～8/23)	1906
5	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
6	フォンタネージ	木立	1868～72頃
7	フォンタネージ	牛を追う農婦	不詳
8	ラヴィエ	モレステル風景(沼)	不詳

9	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	
		(6/30～10/12)	1860 頃
10	コロー	フォンテンブローの風景	
		(4/1～6/28)	1830～35 頃
11	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
12	トロワイヨン	河辺の道	
		(6/30～10/12)	1860～65
13	ルソー	バルビゾンの農場	
		(6/30～10/12)	1850～55 頃
14	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
15	ディアズ	森の中の農婦	1868
16	デュプレ	森のはずれ	1860 代
17	ジャック	森の中	1871
18	クールベ	眠る人	1853
19	クールベ	嵐	1865 頃

「浅井 忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期 平成 22 年 1 月 30 日(土)～3 月 31 日(水)

点数 18 点 51 日間

1	浅井 忠	藁屋根	1887 頃
2	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
3	浅井 忠	農婦	1902
4	浅井 忠	婦人像	1907
5	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
6	フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865 頃
7	フォンタネージ	森の空き地の農婦	不詳
8	ラヴィエ	モレステル風景	1867～1895
9	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860 頃
10	コロー	フォンテンブローの石切場	1835～40
11	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
12	トロワイヨン	河辺の道	1860～65
13	ルソー	バルビゾンの農場	1850～55 頃
14	ドービニー	ヴァルモンドアの小川	1844
15	ディアズ	森の中の農婦	1868
16	デュプレ	森のはずれ	1860 代
17	ジャック	森の中	1871
18	クールベ	雪の中の小鹿	1869 頃

第 3 展示室

「新収蔵作品展」

会期 平成 21 年 5 月 2 日(土)～7 月 5 日(日)

点数 26 点 54 日間

1	芝 千秋	川岸風景	1904
2	芝 千秋	杜の大樹	1904
3	芝 千秋	樹々と農家	1905

4	芝 千秋	高木	1906
5	芝 千秋	樹幹	1906
6	芝 千秋	円山	1907
7	芝 千秋	女学生のいる風景	1907
8	芝 千秋	樹間	1907
9	芝 千秋	深草村	1909
10	芝 千秋	舞子	1910
11	芝 千秋	奈良	1911
12	芝 千秋	境内の樹々	不詳
13	芝 千秋	山村風景	1906
14	芝 千秋	境内	1906
15	芝 千秋	樹々	不詳
16	神谷万吉	裸体	不詳
17	柴宮忠徳	樹と石	1982
18	池内荷芳	松ヶ浦香合	1938
19	池内荷芳	鉄線模様文庫	1939～40
20	二代須賀松園	花器 花鳥太陽	1962
21	二代須賀松園	蛭型銅 花器	1973
22	二代須賀松園	伝芳文香炉	1979
23	三代須賀松園	想春譜	1968
24	三代須賀松園	花器 華容盤	1980
25	三代須賀松園	花器 長江の詩	1981
26	三代須賀松園	花器 暁雲	1983

「こどものための展覧会—こどもの情景—」

会期 平成 21 年 7 月 11 日(土)～8 月 30 日(日)

点数 22 点 44 日間

1	石橋武治	少年	1965
2	石橋武治	窓辺の少女	1965
3	大久保作次郎	庭の木陰	1916
4	大久保作次郎	お茶どき	1950
5	黒田重太郎	女と子犬	1928
6	塩水流功	みんなおいで!	1996
7	田中定一	私の地球	1990
8	椿 貞雄	春夏秋冬図屏風(春)	1931
9	森 桂一	子供のピアノ	1937
10	安井曾太郎	デッサン(人形を持つ少女)	不詳
11	浅井 忠	カルタとりの女兒	不詳
12	五十嵐幹	子供	1951
13	五十嵐幹	紅粧	1975
14	五十嵐幹	かくれんぼ	1983
15	三谷十糸子	魚紋	1988
16	梅原正夫	なかよし	1985
17	島田勝吾	少女と鳥	1981
18	高浜かの子	おねだり	1986
19	長谷川昂 朝		1979

20	長谷川昂 砂あそび	1997
21	藤野天光 希望	不詳
22	山崎 猛 木馬の詩	1984

「書に表された自然と人」

会期 平成21年9月5日(土)～10月12日(月)

点数 19点 33日間

1	浅見喜舟 櫓櫓	1976頃
2	浅見喜舟 朱存理詩	不詳
3	浅見錦龍 九十九里	1960
4	石井雙石 一笑百印	1954
5	今関脩竹 秋花	1969
6	小川瓦木 叙情	1959
7	奥田家山 岬	1995
8	大石隆子 待君	1975
9	金子聰松 孟浩然詩	1992
10	小暮青風 万葉集東歌	1975
11	小暮青風 旅に病んで	1985
12	鈴木方鶴 壺中日月長	1984
13	鈴木方鶴 華下一壺酒	1984
14	高木東扇 玉裳	1979
15	高木東扇 旅人	1981
16	高沢南総 桃李争妍	1970
17	種谷扇舟 故郷之山河	1971
18	千代倉桜舟 玉沙の書	1987
19	中村象閣 星野立子句	1998

「モノクロームの版画」

会期 平成22年1月30日(土)～4月25日(日)

点数 32点 73日間

1	生田宏司 Life again stone II	1985
2	生田宏司 Leaves entwined in wood	1988
3	生田宏司 風	1999
4	池田良二 Together again	1979
5	池田良二 Scattered Seeds	1979
6	池田良二 Nobody Knows my mind	1981
7	牛玖健治 2人	1966頃
8	牛玖健治 作品 鏡	1980
9	瑛 九 銅版画集2『林の目』 4. 林の目	1953
10	瑛 九 銅版画集2『林の目』 9. みみづく	1953
11	瑛 九 銅版画集4『サーカス』 1. かぎ	1956
12	瑛 九 銅版画集5『風車』 9. かべ	1957
13	多賀 新 瞳<ユニコーン>	2000
14	多賀 新 スフィンクス<土方巽氏に捧ぐ>	2000
15	野田哲也 Diary:Aug.9th'81 to Nakatugawa	1981
16	野田哲也 Diary:May 7th'86 in Nara	1986

17	浜口陽三 レダ	1951
18	浜口陽三 ざくろ	1957
19	浜口陽三 ういきょう	1958
20	浜口陽三 びんとレモン	1983
21	浜口陽三 編み棒	1985
22	浜口陽三 野	1985
23	深沢幸雄 ある個性C	1956
24	深沢幸雄 ひも	1956
25	深沢幸雄 ダンテ神曲(地獄篇)より「アルネスト・ラティニ」	1956
26	深沢幸雄 ダンテ神曲(地獄篇)より「チェルボ」	1957
27	深沢幸雄 いしぶみ	1964
28	深沢幸雄 銅版画集「ボードレー詩集 悪の華」より 1. 憂鬱	1971
29	ハイド 雨の夜	1906
30	山下哲郎 TRAVEL-12	1996
31	利渉重雄 光の息	1991
32	利渉重雄 晨への旅	1998

第8展示室

「金工の世界」

会期 平成21年5月12日(火)～6月28日(日)

点数 39点 42日間

1	会田富康 蓋のある青銅壺	1965
2	会田富康 青銅双鳥置物	不詳
3	香取秀真 懸花生	1907
4	香取秀真 烏銅鳳凰香炉	1911
5	香取秀真 笑獅子香炉	1946
6	香取秀真 鳩香炉	1949
7	香取秀真 美々豆久香炉	不詳
8	香取秀真 瑞鳥飾三足鍬	不詳
9	香取正彦 からかね水注	1964
10	香取正彦 銅花瓶	不詳
11	香取正彦 鍍銅花瓶	不詳
12	小林正利 祈り(啓蟄)	1975
13	小林正利 宴野	1996
14	鈴木治平 条紋金彩花瓶	1977
15	鈴木治平 湿原の詩	1985
16	津田永寿 鳥の花器	1979
17	津田永寿 喜心	1998
18	津田信夫 荒鷲	1942
19	津田信夫 唐獅子置物	1946
20	津田信夫 犬	不詳
21	津田信夫 月下妖麗	不詳
22	津田信夫 馬	不詳

23	寺本美茂	からまつ林の詩	1978	26	石井雙石	陶犬瓦鶏	1952
24	寺本美茂	苹象(象嵌壺)	1984	27	石井雙石	醉郷侯印	1952
25	寺本美茂	陽春飾壺	1992	28	石井雙石	洗竹	1953
26	中村董一	鍔銅花瓶	1935	29	石井雙石	無可無不可	1953
27	中村董一	鍔銅花瓶	1935	30	石井雙石	春晚落華餘碧草	1953
28	根箭忠縁	白銅花瓶 兎	不詳	31	石井雙石	常山之蛇	1953
29	信田 洋	透壺	1968	32	石井雙石	趺坐蹴	1953
30	信田 洋	銀壺(花ひらく)	1969	33	石井雙石	盃中蛇景	1953
31	信田 洋	帯装瓶	1971	34	石井雙石	木兄馬	1954
32	信田 洋	銀瓶(スクラム)	1976	35	石井雙石	清樂	1954
33	信田 洋	金冠銅瓶	1980	36	石井雙石	木弟羊	1954
34	信田 洋	夕映の甲斐の山々	1987	37	石井雙石	穆如	1954
35	山室百世	鍔銅東亜の光置物	1939	38	石井雙石	又得浮生半日閑	1954
36	山室百世	鍔銅萌ゆる力置物	1940	39	石井雙石	清風明月醉時歌	1954
37	山室百世	鍔銅進駐置物	1941	40	石井雙石	雙松在前軒	1954
38	山室百世	鍔銅花瓶	不詳	41	石井雙石	外閑中扇	1954
39	山室百世	青銅花挿	不詳	42	石井雙石	樂在其中	1954

「石井雙石」

会期 平成21年7月4日(土)～8月23日(日)

点数 96点 44日間

1	石井雙石	延年益寿	1915	47	石井雙石	一笑	1954
2	石井雙石	胡人入漢	1943	48	石井雙石	有竹居	1955
3	石井雙石	足以容膝	1946	49	石井雙石	月入斜窓曉寺鐘	1956
4	石井雙石	盜瓜	1946	50	石井雙石	遊魚出水帰燕受風	1957
5	石井雙石	一笑百印	1946	51	石井雙石	平安	1959
6	石井雙石	一笑百印	1947	52	石井雙石	養心王鉢	1960
7	石井雙石	一笑百印由来	1947	53	石井雙石	養心王鉢	1960
8	石井雙石	種竹齋	1948	54	石井雙石	虎威將軍章	1961
9	石井雙石	碩	1949	55	石井雙石	雙石	1961
10	石井雙石	碩印	1949	56	石井雙石	虎威將軍章	1961
11	石井雙石	醉碩	1949	57	石井雙石	至人只是常	1962
12	石井雙石	水腐魚游	1949	58	石井雙石	虎	1962
13	石井雙石	偶成(刀匠の復讐～)	1949	59	石井雙石	人生一樂	1963
14	石井雙石	解衣般礴	1951	60	石井雙石	踏破千山萬嶽煙	1964
15	石井雙石	林鳥相忘不避人	1951	61	石井雙石	古人今人如流水	1964
16	石井雙石	不二山客	1951	62	石井雙石	借宅亦種竹	1964
17	石井雙石	吟月	1952	63	石井雙石	いろは歌	1964
18	石井雙石	天假之年	1952	64	石井雙石	久遠寺印	1965
19	石井雙石	醉郷侯印	1952	65	石井雙石	和敬清寂	1965
20	石井雙石	与人風馬牛	1952	66	石井雙石	樂	1966
21	石井雙石	陶犬瓦鶏	1952	67	石井雙石	半仙	1966
22	石井雙石	故弄筆詭	1952	68	石井雙石	非心非佛	1967
23	石井雙石	碩鉢	1952	69	石井雙石	山華水鳥皆知己	1967
24	石井雙石	碩鉢	1952	70	石井雙石	吞む	1967
25	石井雙石	子寛	1952	71	石井雙石	一盃一盃復一盃	1968

72	石井雙石	清風自来	1969	9	深沢幸雄	屈辱史B	1961
73	石井雙石	偶成(刀ヲ匣ヲ復タ〜)	1970	10	深沢幸雄	固いとりで	1962
74	石井雙石	吉陽	1970	11	深沢幸雄	生	1962
75	石井雙石	碩鉢	1970	12	深沢幸雄	いしぶみ	1964
76	石井雙石	雙石	1970	13	深沢幸雄	遺伝(流れ)A	1964
77	石井雙石	Tiger	1955 頃	14	深沢幸雄	古い楽譜(青)	1965
78	石井雙石	左思右考	1955 頃	15	深沢幸雄	古い楽譜(記号)	1965
79	石井雙石	天衣無縫	1955 頃	16	深沢幸雄	記録	1965
80	石井雙石	富士(図)	1955 頃	17	深沢幸雄	土と火の祝祭	1966
81	石井雙石	牡丹記念	1965 頃	18	深沢幸雄	伝説	1966
82	石井雙石	南極太守	1966 頃	19	深沢幸雄	女帝	1967
83	石井雙石	人盡樂	1967 頃	20	深沢幸雄	指の間の記憶B	1970
84	石井雙石	半仙玩窟蔵	1968 頃	21	深沢幸雄	悠久に続く赤い線	1971
85	石井雙石	林外雪消山色静窓前春竹浅声寒	1971 頃	22	深沢幸雄	黎明のヴィーナス	1971
86	石井雙石	一長一短	1971 頃	23	深沢幸雄	星の門	1972
87	石井雙石	談藝論道	不詳	24	深沢幸雄	凝視(青)	1973
88	石井雙石	川	不詳	25	深沢幸雄	影(メヒコ)A	1974
89	石井雙石	忠如	不詳	26	深沢幸雄	青い裸像A	1975
90	石井雙石	蝸牛画	不詳	27	深沢幸雄	ピラミッドの下で	1976
91	石井雙石	水廣魚游	不詳	28	深沢幸雄	掌の中の影	1976
92	石井雙石	何因鉢	不詳	29	深沢幸雄	壁の中の影	1976
93	石井雙石	碩	不詳	30	深沢幸雄	白い光の塔(グワテマラ)	1977
94	石井雙石	碩	不詳	31	深沢幸雄	りんごの中の夜A	1978
95	石井雙石	碩	不詳	32	深沢幸雄	凍れる歩廊<ベーリング海峡>	1978
96	石井雙石	碩	不詳	33	深沢幸雄	影の中の恋人	1978
97	石井雙石	酔碩	不詳	34	深沢幸雄	この遙かなる遠い道	1979
98	石井雙石	井碩	不詳	35	深沢幸雄	天空を計る	1979
99	石井雙石	井碩	不詳	36	深沢幸雄	湾頭に開く花	1979
100	石井雙石	井碩	不詳	37	深沢幸雄	アシェンダの地下にて	1980
101	石井雙石	雙石	不詳	38	深沢幸雄	異次元よりの使者	1981
102	石井雙石	雙石	不詳	39	深沢幸雄	新しき土	1981
103	石井雙石	雙石所作	不詳	40	深沢幸雄	星屑劇場	1983
				41	深沢幸雄	酒場にて	1983
				42	深沢幸雄	陸橋の上を歩く人	1984
				43	深沢幸雄	憂愁市街(迷路)	1985
				44	深沢幸雄	顔は迷路	1988
				45	深沢幸雄	小鳥紳士	1988
				46	深沢幸雄	顔の地図	1988
				47	深沢幸雄	樹精	1990
				48	深沢幸雄	誇り高き男	1992
				49	深沢幸雄	白い抒情の人	1992
「深沢幸雄」				「鶴田吾郎」			
会期	平成21年8月29日(土)~10月12日(祝・月)			会期	平成22年1月30日(土)~4月18日(日)		
点数	49点	33日間		点数	30点	68日間	
1	深沢幸雄	骨疾B	1955	1	鶴田吾郎	池袋風景	1911
2	深沢幸雄	ダンテ神曲「地獄篇」より ブルネット・ラティエニ	1956				
3	深沢幸雄	ダンテ神曲「地獄篇」より チェルベロ	1957				
4	深沢幸雄	繫縛	1959				
5	深沢幸雄	神話	1959				
6	深沢幸雄	愛憎	1960				
7	深沢幸雄	はがねの華	1960				
8	深沢幸雄	飛天挽歌	1960				

2	鶴田吾郎	自画像	1912	10	長谷川昂	花の国の母神	1961
3	鶴田吾郎	馬車屋の親爺	1930	11	伴 正史	人「無言」	1997
4	鶴田吾郎	婦人像	1933	12	山崎英五	地を這うものども VIII	1978
5	鶴田吾郎	水汲み	1935	13	山崎英五	地を這うものども XIII	1981
6	鶴田吾郎	蒙古の女	1937	14	山本正道	エトルリアの壺	1985
7	鶴田吾郎	廟と老人(張家口)	1937	15	米林雄一	Circle and triangle	1983
8	鶴田吾郎	憶ひ出の広安門	1939	16	頼 永興	心海悠遊	1997
9	鶴田吾郎	手紙を書く兵士	1939	17	綿引道郎	詩人一生をみつめて	1991
10	鶴田吾郎	女子挺身隊(パラシュート工場)	1942	18	綿引司郎	遙	1970
11	鶴田吾郎	アンコールワットと兵隊	1942				
12	鶴田吾郎	買出しの娘	1946				
13	鶴田吾郎	富士山	1951				
14	鶴田吾郎	朝日連峰	1951～54				
15	鶴田吾郎	鷹の巣の雪山	1954				
16	鶴田吾郎	近藤浩一路氏	1954				
17	鶴田吾郎	秋田雨雀氏	1954				
18	鶴田吾郎	練習中の大交響楽団(レニングラードオーケストラ)(※)	1958				
19	鶴田吾郎	説教	1962				
20	鶴田吾郎	初転法輪	1967				
21	鶴田吾郎	お山の鈴音	1968				
22	鶴田吾郎	水温	1968				
23	鶴田吾郎	河口湖の富士	不詳				
24	鶴田吾郎	大島	不詳				
25	鶴田吾郎	網打つ男	不詳				
26	鶴田吾郎	坑夫	不詳				
27	鶴田吾郎	潮音	不詳				
28	鶴田吾郎	中山競馬場	不詳				
29	鶴田吾郎	あくび	不詳				
30	鶴田吾郎	芋掘り	不詳				

(※) 途中より展示

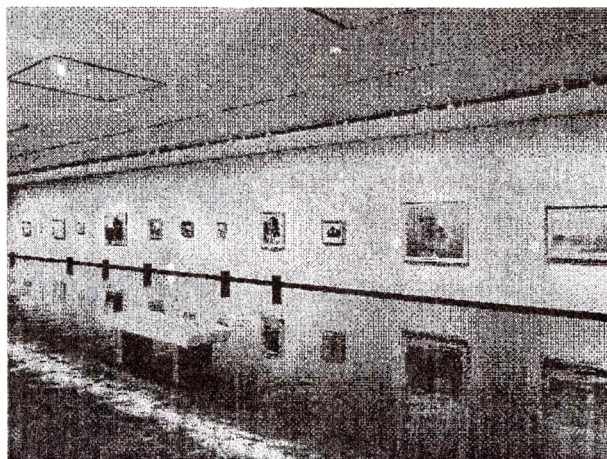
第7展示室

「彫刻」

会期 平成21年12月15日(火)
～平成22年4月18日(日)

点数 18点 100日間

1	池田丈一	ひねくれた正 12面体	1987
2	大須賀力	或るポーズ	1988
3	笠原鉄明	帰る日	1993
4	木村賢太郎	作品 77	1963
5	木村賢太郎	立っている形 6	1991
6	工藤 健	愁いのマンドーラ	1991
7	郡司和男	詩人の肖像	1976
8	澤田志功	森は観つめる	1995
9	鈴木啓子	FEELING-69	1996



2 平成 21 年度企画展

櫻田精一展

生誕 100 年—響きあう光・水・風を描く—

会 期 平成 21 年 11 月 28 日(土)

～平成 22 年 1 月 24 日(日)

42 日間

会 場 第 1・2・3・8 展示室

展示点数 64 点

入場者数 8,316 名

1	櫻田精一	朝靄	1927
2	櫻田精一	東京駅	1932
3	櫻田精一	早春の博物館	1935
4	櫻田精一	市場の帰り	1940
5	櫻田精一	池畔初夏	1941
6	櫻田精一	懐古の室	1942
7	櫻田精一	裏庭早春	1943
8	櫻田精一	公園の一隅	1943
9	櫻田精一	冬桐	1947
10	櫻田精一	朝秋	1947
11	櫻田精一	秋庭	1948
12	櫻田精一	台風の季節	1949
13	櫻田精一	春陽	1949
14	櫻田精一	花桐の頃	1949
15	櫻田精一	猫と棚	1950
16	櫻田精一	水門	1951
17	櫻田精一	坐像	1951
18	櫻田精一	朝の踏切	1951
19	櫻田精一	冬の水門	1952
20	櫻田精一	水槽のある工場	1954
21	櫻田精一	水門のある橋	1955
22	櫻田精一	VENICE	1958
23	櫻田精一	ポンペイの追憶(蝶)	1959
24	櫻田精一	水仙と鳩	1961
25	櫻田精一	晨	1963
26	櫻田精一	冬の並木道	1965
27	櫻田精一	睡	1966
28	櫻田精一	自画像によるドン・キホーテ	1966
29	櫻田精一	秋霖	1970
30	櫻田精一	サンマルコの鳩	1972
31	櫻田精一	晩雷	1973
32	櫻田精一	夕鳩	1974
33	櫻田精一	古扉と鳩	1974
34	櫻田精一	追憶	1974
35	櫻田精一	空翔ける	1974

36	櫻田精一	雨の並木道	1974
37	櫻田精一	春雪	1975
38	櫻田精一	陽炎	1975
39	櫻田精一	鳩紋	1977
40	櫻田精一	クエンカの記録	1978
41	櫻田精一	冬の修道院	1978
42	櫻田精一	朝	1978
43	櫻田精一	樹のある広場(ボージュ)	1980
44	櫻田精一	池畔行秋	1981
45	櫻田精一	雪後並木道	1981
46	櫻田精一	閑日(BRUGE)	1982
47	櫻田精一	三月	1983
48	櫻田精一	春雪	1984
49	櫻田精一	運河暖日(BRUGE)	1984
50	櫻田精一	白い舟	1985
51	櫻田精一	古都催春	1986
52	櫻田精一	樹影	1986
53	櫻田精一	山河あり	1987
54	櫻田精一	築地の道	1988
55	櫻田精一	生命讃歌	1989
56	櫻田精一	水温む河岸	1992
57	櫻田精一	グレー早春	1993
58	櫻田精一	冬の虹	1994
59	櫻田精一	冬沼	1994
60	櫻田精一	枯野	1995
61	櫻田精一	小春	1995
62	櫻田精一	秋霖の頃	1996
63	櫻田精一	水温む	1997
64	櫻田精一	雨催い	1998



3 第33回千葉県移動美術館

いすみ市水彩ギャラリーを会場として、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、版画の各6分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第61回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。

会 期 平成22年11月17日(火)～29日(日)
(24日(火)は休館) 12日間
会 場 いすみ市水彩ギャラリー
展示点数 37点
入場者数 289人

<洋画>

1	ジャック 森の中	1871
2	コロー ナポリ近郊の思い出	1860～65
3	フォンタネージ 牛を追う農婦	1862頃
4	浅井 忠 小丹波村	1893
5	浅井 真 太海海岸	1960
6	都鳥英喜 海浜風景	1909
7	安井曾太郎 熱海附近	1929
8	梅原龍三郎 竹窓読書図	1937
9	石井柏亭 信州風景	1948
10	安藤信哉 みなと	不詳
11	石井光楓 荷揚げ	1925～31
12	林 倭衛 太海	不詳
13	富田通雄 外房鵜原	1964
14	小堀 進 真夏の海(太海)	1931
15	藤井外喜雄 シャトル	1975
16	松村三冬 コルドバの中庭	1968
17	中西利雄 トリエール・シュール・セーヌ	1930

<日本画>

18	松尾敏男 農光富貴	不詳
19	横尾芳月 夕粧	1981
20	富取風堂 柿と軍鶏	不詳

<版画>

21	星 襄一 夜明け	1975
22	池田満寿夫 遙かなる通り	1970
23	浜口陽三 ブラジルの太陽	1971

<書>

24	千代倉桜舟 星野立子の俳句	1980
25	浅見喜舟 心田灑掃浄無塵	1983

<彫刻>

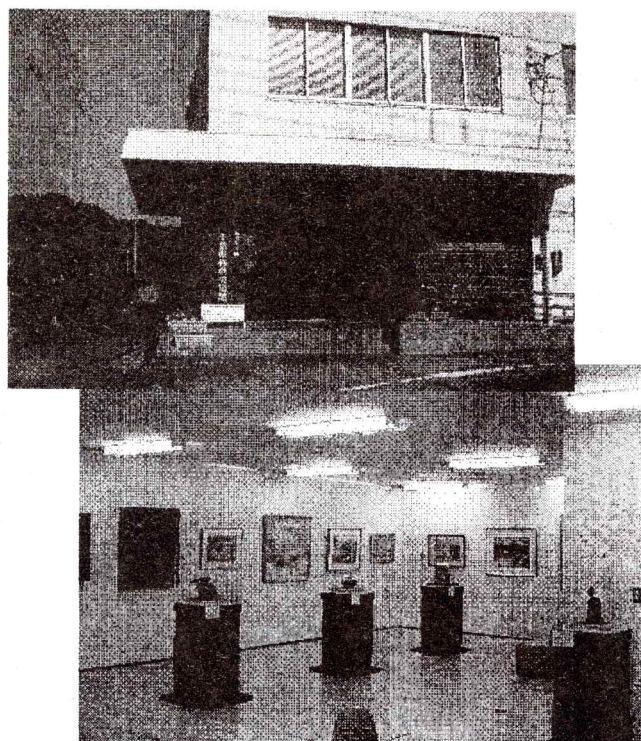
26	高村光太郎 裸婦坐像	1916頃
27	藤野天光 希望	不詳

<工芸>

28	香取秀真 烏銅鳳凰香炉	1911
29	津田信夫 兎	不詳
30	信田 洋 夕映えの甲斐の山々	1987
31	藤田喬平 飾篭・しだれ櫻	1985
32	堀友三郎 ノトロサンゴ草	2001
33	戸島甲喜 カルマのイメージ	1972

第61回千葉県美術展覧会(県展) 県展賞受賞作品

34	佐藤美代子 つなぐ「止揚」	2009
35	佐藤龍生 虎	2009
36	金井伸弥 共鳴	2009
37	川津益美 袁凱詩	2009



第33回千葉県移動美術館(いすみ市水彩ギャラリー)

4 千葉県立美術館収蔵作品巡回展

文化庁の支援による地域文化芸術振興プラン推進事業「文化芸術まつり in Chiba」の一環として実施した事業である。館山市立博物館と木更津市郷土博物館金のすずの2館を会場とし、日本画、洋画、工芸、版画の4分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介した。館山市立博物館と木更津市郷土博物館金のすずの両会場では同じ作品を展示した。

会場 館山市立博物館
会期 平成21年12月8日(火)～20日(日)
(12/14日(月)は休館) 12日間
展示点数 25点
入場者数 1,476人

会場 木更津市郷土博物館金のすず
会期 平成22年1月6日(水)～17日(日)
(1/12日(火)は休館) 11日間
展示点数 25点
入場者数 642人

<洋画>

- | | | | |
|----|---------|------------|---------|
| 1 | コロー | ナポリ近郊の思い出 | 1860～65 |
| 2 | クールベ | 眠る人 | 1853 |
| 3 | フォンタネージ | 牛を追う農婦 | 1862頃 |
| 4 | 浅井 忠 | 老母像 | 1906 |
| 5 | 石井柏亭 | 安倍川 | 不詳 |
| 6 | 梅原龍三郎 | 竹窓読書図 | 1929 |
| 7 | 小堀 進 | 海(白浜) | 1954 |
| 8 | 塩水流功 | みんなおいで! | 1996 |
| 9 | 篠崎輝夫 | 絵馬による | 1976 |
| 10 | 椿 貞雄 | 鋸山からみた房総半島 | 1948 |
| 11 | 富田通雄 | 外房鶴原 | 1964 |
| 12 | 柳 敬助 | 婦人像 | 1948 |
| 13 | 安井曾太郎 | 熱海附近 | 1929 |

<日本画>

- | | | | |
|----|------|-------|------|
| 14 | 石井林響 | 浦島太郎図 | 不詳 |
| 15 | 鈴木鷺湖 | 蜀の栈道図 | 不詳 |
| 16 | 富取風堂 | 柿と軍鶏 | 不詳 |
| 17 | 松尾敏男 | 晨光富貴 | 1981 |
| 18 | 渡辺 学 | 川口 | 1976 |

<版画>

- | | | | |
|----|------|-----|------|
| 19 | 星 襄一 | 夜明け | 1975 |
|----|------|-----|------|

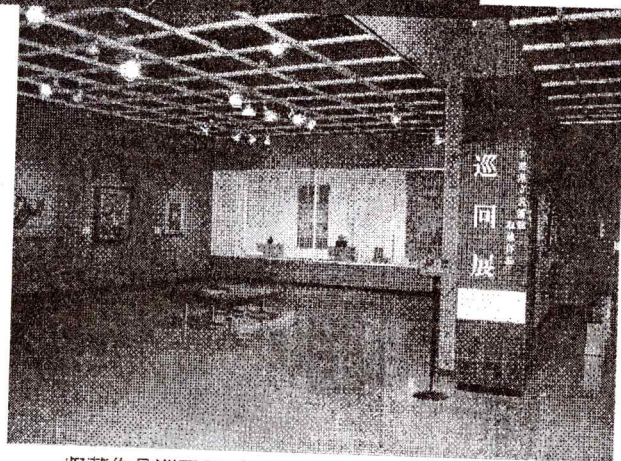
- | | | | |
|----|------|----------------|------|
| 20 | 川瀬巴水 | 房州太海 | 1970 |
| 21 | 深沢幸雄 | 凍れる歩廊<ベーリング海峡> | 1971 |

<工芸>

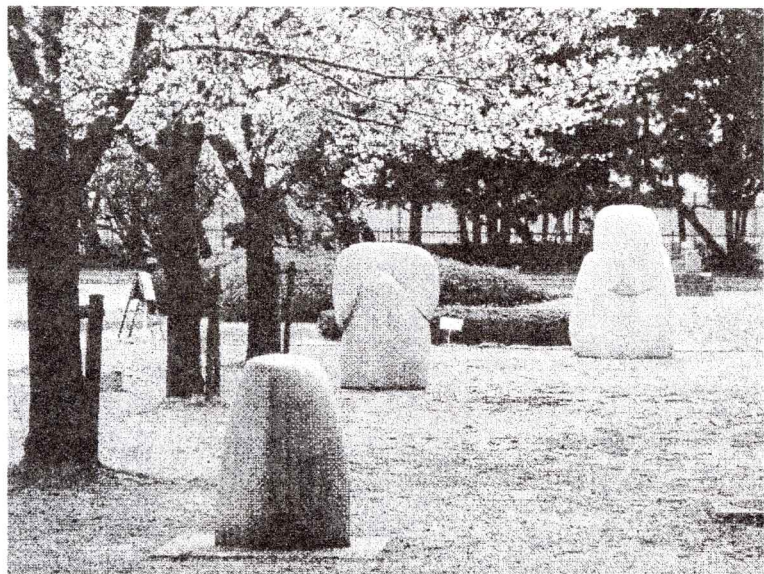
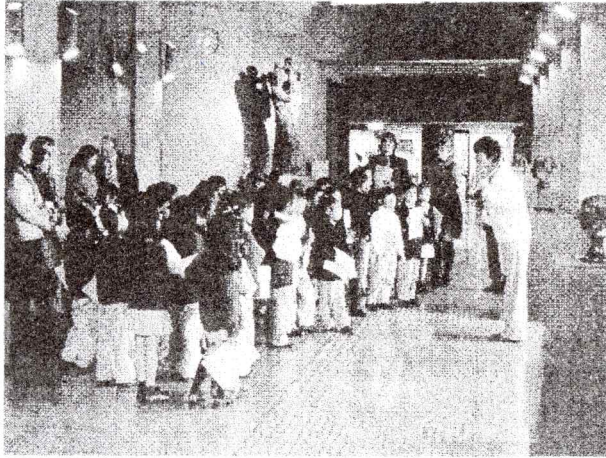
- | | | | |
|----|------|--------|------|
| 22 | 会田富康 | 青銅双鳥置物 | 不詳 |
| 23 | 香取秀真 | 笑獅子香炉 | 不詳 |
| 24 | 津田信夫 | 兎 | 不詳 |
| 25 | 藤田喬平 | 飾篭・紅白梅 | 1995 |



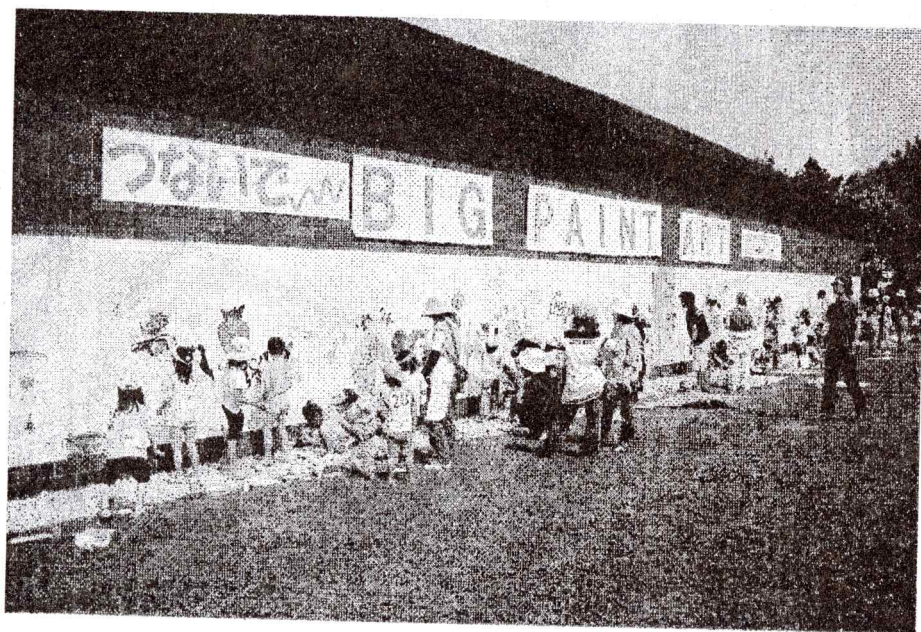
地域文化芸術
振興プラン推
進事業「文化
芸術まつり
in Chiba」チ
ラシ



収蔵作品巡回展(木更津市郷土博物館金のすず)



■ 普及事業 ■



1 企画展「櫻田精一展」関連事業

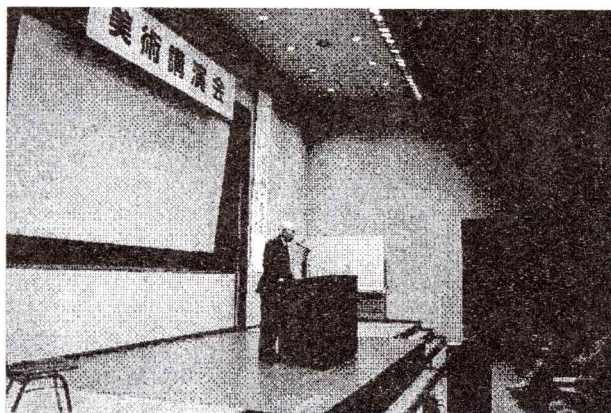
美術講演会「櫻田精一を語る」

生前の櫻田精一を良く知る、洋画家の塗師祥一郎氏を講師に招いて話しを伺った。塗師氏は櫻田精一氏と同じく小糸源太郎氏に師事し、光風会展、日展、日洋展を舞台として、ともに活動した。

櫻田氏の生き方や人柄、影響を受けた人々との交流とエピソード、生活の中から感性を養っていく制作方法、鳩をモチーフとした由来、好んで描いたブルージュ、古都奈良、野田の自然について寄せる思いなどを櫻田作品のスライドを見ながら、温かい眼差しで語られた。

当日は、定員を上回る多数の参加があり、立見の聴講者も出るほどの盛況であった。

日 時 平成21年12月19日(土) 14:00～15:30
場 所 千葉県立美術館 講堂
参加者数 225人



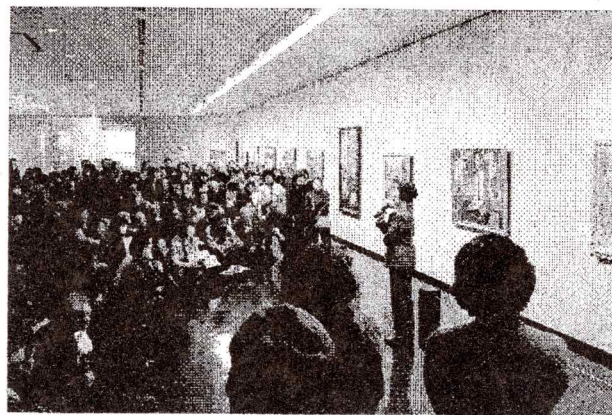
ギャラリートーク

企画展「櫻田精一展」会期中に2回、ギャラリートークを実施した。

第1回目は、当館学芸員によるギャラリートークを実施し、櫻田作品に登場する鳩などのモチーフ、ブルージュ、奈良、野田など好んで描いた場所の特徴を時代を追って紹介した。

第2回目は、櫻田精一氏の長女で洋画家の櫻田久美氏を講師に迎えて、櫻田精一氏にまつわる思い出やエピソードを交えながら、本館学芸員との対話形式で実施した。当日は、展示室内が立錫の余地もないほどの参加者で埋め尽くされた。

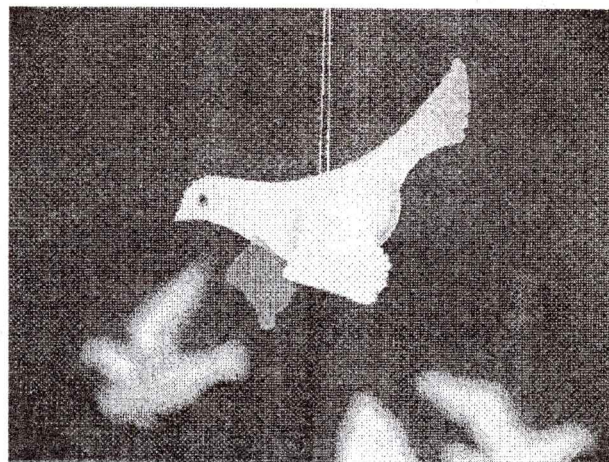
日 時 平成21年11月28日(土) 13:00～
平成22年1月9日(土) 13:00～
場 所 第1・2・3・8展示室
参加者数 11月28日 120人
1月9日 306人



「櫻田精一展」関連スペシャルワークショップ 「櫻田精一の世界ーはと・鳩・ハートー」

櫻田精一展を鑑賞後、櫻田の好んでモチーフにした鳩に関連した創作体験を実施した。厚さや手触りの異なる20種以上の白い紙や色紙、加工した紙や丸いシールを用意し、参加者それぞれの感性に任せた鳩を創作した。できあがった全員の作品を部屋の高い位置に配置し、櫻田精一の絵から鳩が飛び出すようなインスタレーションを楽しんだ。

日 時 平成22年1月16日(土) 13:00～15:30
場 所 第8展示室、第6展示室
参加者数 13名



2 ワークショップ

美術館でしか味わえない創作体験学習を通して、親しまれる美術館利用の促進を図るため、展覧会に因んだ内容で、以下のワークショップを開催した。

第1回ワークショップ「つないで〜ビッグペイントアート」

四つ切りの画用紙に各自線を描き、芝生に画用紙に描いた線をつなぎ、全員で一つの作品とした。また、80 mほどの外壁に貼った紙、芝生に敷いた紙、乗用車の車体に、筆やスポンジ、刷毛などを使って自由に絵を描く創作体験を実施した。

日 時 5/9(土) 13:00 ~ 15:30

場 所 美術館野外

参加者数 191名

第2回ワークショップ「県民の日・その場であーと」

県民の日に近い土曜日に、幼児から一般を対象にした6種のアート体験ができるワークショップを展開した。カンバッジ（色鉛筆等で自由に絵を描いた紙でカンバッジ作り）、折り紙テーブル（折り紙で鉛筆・シャツを折る）、スタンプカードテーブル（ハガキ大の紙にスタンプや型抜きをした色紙で模様を貼る）、あーとなこまテーブル（紙でこまを作る）、ともだちいろコーナー（カラーアート紙を使ったコラージュで自由参加による制作）、パズルや積み木で遊べるコーナーを設け、アートにふれる一日を提供した。

日 時 6/13(土) 10:00 ~ 15:00

場 所 第7展示室

参加者数 100名



第3回ワークショップ「ガラスで・あーと」

アート・コレクション「ガラスの彩り」の展示に因み展示を鑑賞し、ガラスに模様を施す創作体験を実施した。今回は、18歳以上の大人を対象に、持参したガラスのカッ

プや瓶にエッチングで模様をつけた。さらに用意した長方形の花瓶に思い思いのデザインで作品を制作した。最後に全員でできあがった作品を鑑賞した。

日 時 7/18(土) 10:00 ~ 15:00

場 所 第1展示室、第2アトリエ

参加者数 21名



第4回ワークショップ「はんで・あーと」

アート・コレクション「モノクロームの版画」の展示に因み展示を鑑賞し、凹凸のある形に親しむ創作体験を実施した。今回は、小学3年生から中学生を対象に、館内や館の庭で凸凹の型をフロッタージュの技法で紙に写し取り、さらに厚紙や針金を用いて版を作り、版画（プレス機でプレスする）を制作する創作体験を実施した。

日 時 9/19(土) 13:00 ~ 15:30

場 所 第3・7展示室、館庭、第2アトリエ

参加者数 11名

第5回ワークショップ「モノレールで・あーと」

千葉都市モノレール株式会社と協働で実施したワークショップで、小学生の親子を対象に、モノレール車両基地の展示車両で、動物をテーマにカラーシールを使った貼り絵を作り、各々の作品を車両内に展示した。作品を掲示した車両は、2週間後にモノレール祭りで休憩場所として供され、作品発表の場となった。

日 時 10/3(土) 13:00 ~ 15:30

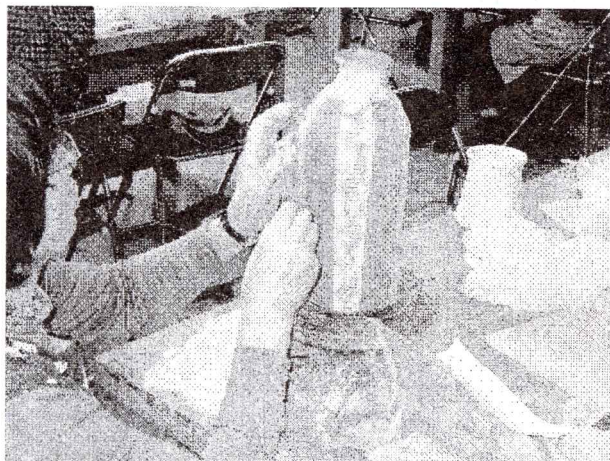
場 所 千葉都市モノレール株式会社

参加者数 15名（こどものみ）

3 実技講座

陶芸講座（応用）

期 日 4/23(木)・4/24(金)・4/25(土)
4/26(日)・5/14(木)・5/24(日) (6日間)
講 師 鈴木久美子氏
受講者数 16名
内 容 陶芸経験者が、それぞれ作品を制作し、石膏型どりでの制作に挑戦した。



陶芸講座（基礎）

期 日 5/28(木)・5/29(金)・5/30(土)
5/31(日)・6/18(木)・6/28(日) (6日間)
講 師 鈴木久美子氏
受講者数 27名
内 容 陶芸初心者を中心に、板作りの技法で六角形の器を作り、用具の扱いなどを学んだ。

ホリデーアート木版画講座

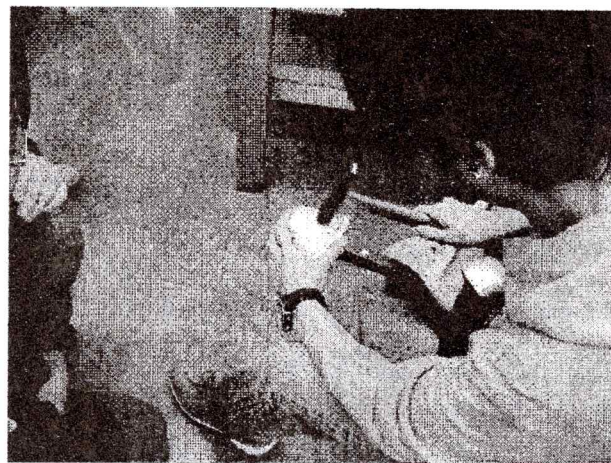
期 日 8/22(土)・8/23(日) (2日間)
講 師 上田靖之氏
受講者数 9名
内 容 広く版画についての講義を受け、木版画の制作方法や魅力について学び、最大4版の多色木版画を制作した。勤労者も参加できるように、土曜・日曜に設定した。

銅版画講座

期 日 9/3(木)・9/5(土)・9/8(火)
9/10(木)・9/12(土)・9/15(火) (6日間)
講 師 上田靖之氏
受講者数 12名
内 容 広く版画についての講義を受け、銅版画の制作を通して、技法や用具の扱いを学んだ。

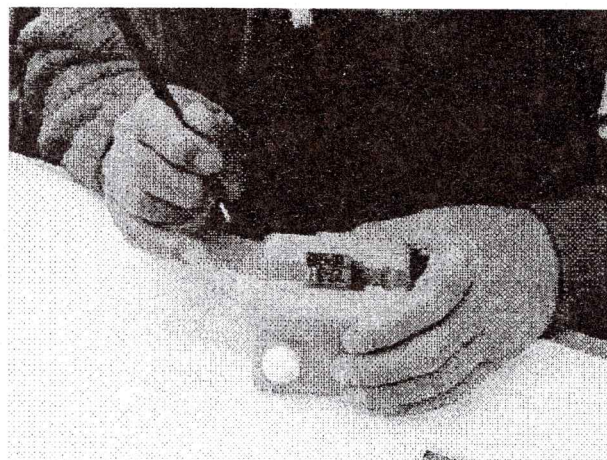
金工講座

期 日 1/20(水)・1/21(木)・1/26(火)・
1/28(木)・1/29(金)・2/2(火)・2/4(水)
(7日間)
講 師 平山記通氏
受講者数 15名
内 容 鍛金の作品製作を通して、基本的な技法を学び、各種工具の取り扱い方を身につけた。



篆刻講座

期 日 2/9(火)・2/12(金)・2/16(火)
2/17(水)・2/23(火)・2/26(金) (6日間)
講 師 那須大卿氏
受講者数 10名
内 容 篆刻の歴史や技法について講義を受け、印の制作を通して基本的な技法や用具の取り扱い方を習得した。



4 学習支援事業等

美術館講座

幕張総合高等学校と連携し、4月から10月までの期間土曜日や夏季休業中を利用し実施した。美術館内で講座を開講し、法定時数35時間×2の70時間の授業を美術館において実施して2単位を取得するシステムである。参加者は9名であった。

内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために、実際に本館の展示に関わった。当館の所蔵作品の中から各自1点を選び、その作家・作品について研究し、最後に発表の場面として選定した作品について入館者の前でギャラリートークを行った。展示からギャラリートークに至るまで、展覧会の情報発信の仕方について、チラシの制作や美術工芸品の取り扱い方などを交えながら実際の学芸員と同様の活動を体験した。

また、普及活動としてワークショップに参加し、来館者と直接ふれあう体験を行った。



美術館講座におけるギャラリートーク

美術館体験学習

(インターンシップ・一日学芸員体験等)

平成14年度より施行されている新学習指導要領の主旨に鑑み、本館と学校とが連携を密にし一体となって、児童及び生徒が現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成するための事業として実施した。職場体験、職場訪問、インターンシップ、高校生セミナー等を希望する中学生や高校生を対象にした。

体験内容は、美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、野外彫刻の点検及び鑑賞、アート・コレクションの鑑賞や作品紹介の発表会等である。また美術工芸品(掛け軸)の取り扱いと保管の仕方の実技、版画やワイヤーアート等の創作活動、情報資料の整理作業、ワークショップ準備、受付案内業務、展示室監視業務等を日数や人数に応じて実施した。

教師のためのアートガイダンス

学校と美術館の連携を推進するために、美術館活用の方を提案した。前半は美術館の教育普及活動の取り組みの紹介、後半は鑑賞教育・創作体験の2つのコースに分けて研修を実施した。

期 日 7月30日(木) 第1部 9:00～12:00
第2部 13:00～16:00

場 所 講堂、研修室、第2アトリエ、展示室

対 象 県内小・中・高・特別支援学校の担当教員

参加者 ①47名 ②44名 計91名(71校)

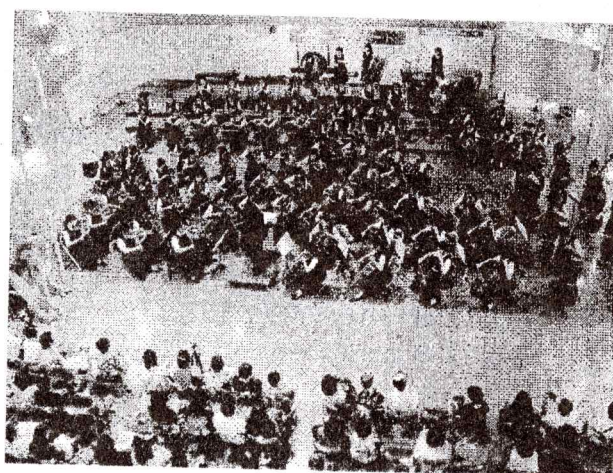
高校生によるサマーコンサート

夏休み期間中に千葉県立千葉女子高等学校と連携して、オーケストラ部によるサマーコンサートを開催した。2部制で実施し、幼児から高齢者まで幅広い参加者があった。「カルメン～前奏曲・闘牛士」、『となりのトトロ』より「さんぽ」、「オペラ座の怪人」など親しまれている曲をエネルギッシュに演奏し好評を得た。

期 日 7月25日(土) 14:00～・15:00～

会 場 第7展示室

参加者 435名



高校生によるサマーコンサート

その他の事業

上記以外にも、ケンピーおもしろ鑑賞教室として、来館した学校団体等を対象に鑑賞学習や創作体験を実施した。

また、小学校3校14学級を対象に、複製画を活用した出張鑑賞教室を実施した。

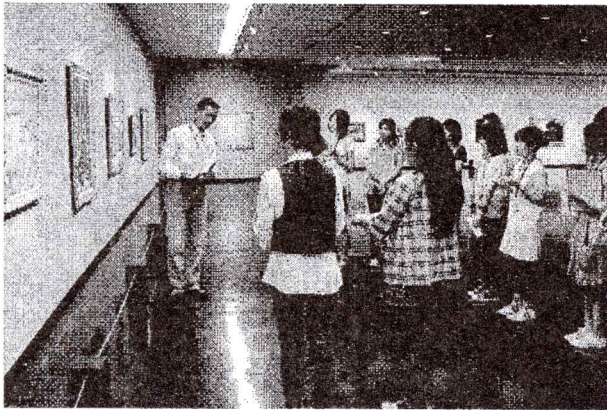
5 活動協力等

博物館実習

各大学からの依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れた。

期間 平成22年7月29日(水)～8月3日(月)

受入大学 清泉女子大学(1人)、日本大学(1人)、実践女子大学(1人)、学習院女子大学(1人)、共立女子大学(1人)、了徳寺大学(1人)、聖徳大学(1人)、(7大学7人)



博物館実習生によるギャラリートーク

千葉県立美術館友の会

①目的

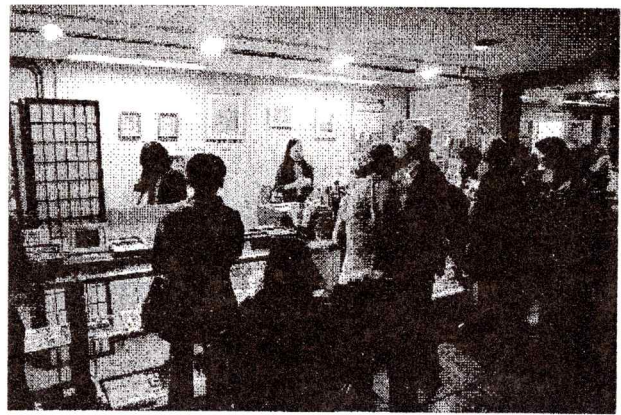
“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で、教養を豊かにし、美術文化の向上を図り会員相互の親睦を深める。

②組織

- (1) 会員数 個人会員339人、賛助会員0人
- (2) 役員 会長1人、副会長3人、監事2人、理事若干名

③事業

- (1) 友の会だより「しおさい」の発行、年4回各600部印刷し、会員に配布した。
- (2) 第35回葉美会展の開催
会期 平成21年9月8日(火)～9月13日(日)
出品者 58人
展示点数 98点
- (3) 秋の美術鑑賞の旅
会員の親睦を深めるために東京都内の文化施設・美術館等を訪ねる旅を実施した。
期日 平成20年9月25日(木)
場所 戸栗美術館、泉屋博古館分館、鳩山会館、印刷博物館
参加者数 38人



ミュージアムショップ

(4) 館事業への協力

ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

(5) その他

テレフォンカード、絵葉書、額縁、額絵、図書等の販売

④平成21年度友の会実技講座

洋画講座1

期 日 5/13(水) 5/14(木) 5/15(金) 5/27(水)
5/28(木) 5/29(金)

講 師 羽生智樹氏

受講者 34人

洋画講座2

期 日 6/18(木) 6/19(金) 6/20(土) 7/2(木)
7/3(金) 7/4(土)

講 師 根岸茂行氏

受講者 25人

洋画講座3

期 日 7/7(火) 7/8(水) 7/9(木) 7/14(火)
7/15(水) 7/16(木)

講 師 竹久秀樹氏

受講者 30人

洋画講座4

期 日 7/28(火) 7/30(木) 7/31(金)

講 師 根岸茂行氏

受講者 29人

洋画講座5

期 日 8/5(水) 8/6(木) 8/7(金) 8/19(水)
8/20(木) 8/21(金)

講 師 池田敏男氏

受講者 28人

洋画講座6

期 日 8/26(水) 8/27(木) 8/28(金)

講 師 松澤茂雄氏

受講者 32人

洋画講座 7

期 日 9/9 (水) 9/10 (木) 9/11 (金)

講 師 松澤茂雄氏

受講者 32人

洋画講座 8

期 日 11/25 (水) 11/26 (木) 11/27 (金)

講 師 松澤茂雄氏

受講者 34人

洋画講座 9

期 日 1/19 (火) 1/20 (水) 1/21 (木) 1/26 (火)
1/27 (水) 1/28 (木)

講 師 竹久秀樹氏

受講者 32人

洋画講座 10

期 日 2/18 (木) 2/19 (金) 2/20 (土)

講 師 根岸茂行氏

受講者 31人

洋画講座 11

期 日 3/3 (水) 3/4 (木) 3/5 (金) 3/10 (水)
3/11 (木) 3/12 (金)

講 師 羽生智樹氏

受講者 32人

水彩画講座

期 日 6/3 (水) 6/4 (木) 6/5 (金) 6/10 (水)
6/11 (木) 6/12 (金)

講 師 青柳光枝氏

受講者 27人

日本画講座

期 日 12/10 (木) 12/11 (金) 12/12 (土) 12/17 (木)
12/18 (金) 12/19 (土)

講 師 中村寛治氏

受講者 12人

ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするために、情報資料室レファレンスのボランティアを募集し、登録者数は16名で活動した。

ワークショップ準備と実践(ワークショップサポーター)のボランティアを募集し、10名がワークショップサポーターとして活動した。

複製画の貸出

鑑賞教育の教材などとして、学校、社会教育施設などに、当館所蔵の複製画の貸出を行っている。21年度は6件21点の貸出を行った。

平成21年度の貸出先(貸出期間)及び貸出作品

①千葉県立中央図書館(21.7.17～22.1.16)

ルノワール ムーラン・ド・ラ・ギャレット

②千葉県立中央図書館(22.1.16～23.7.17)

ゴーギャン 白い馬

③長生町立一松小学校(21.6.23)

ミレー 垣根に沿って草を食む羊

④茂原市立緑ヶ丘小学校(21.6.17)

ミレー 垣根に沿って草を食む羊

⑤市原市立国分寺台西小学校(21.9.10～21.11.10)

レオナルド・ダ・ヴィンチ モナ・リザ

レンブラント 解剖学講義

ドガ 舞台のダンサー

モネ 印象・日の出

ゴーギャン 白い馬

ゴッホ アルルのはね橋

ルソー 蛇遣いの女

ピカソ 足を組んで座る軽業師

モディリアニ 赤ん坊を抱いたジプシーの女

シャガール 村の通り

⑥千葉県立国府台高等学校(22.3.4～22.4.27)

コロロ ナポリ近郊の思い出

ミレー 垣根に沿って草を食む羊

クールベ 雪の中の子鹿

マネ 笛吹の少年

ドガ 舞台のダンサー

セザンヌ サント・ヴィクトワール・ピペミュの眺め

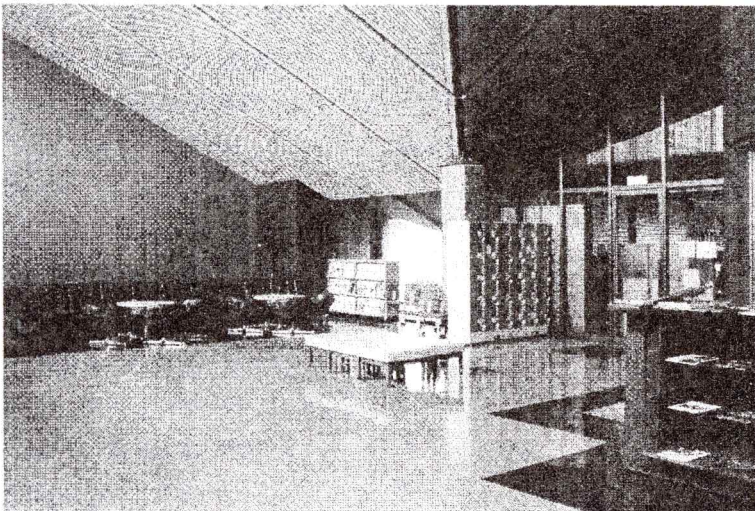
モネ 印象・日の出

情報資料室

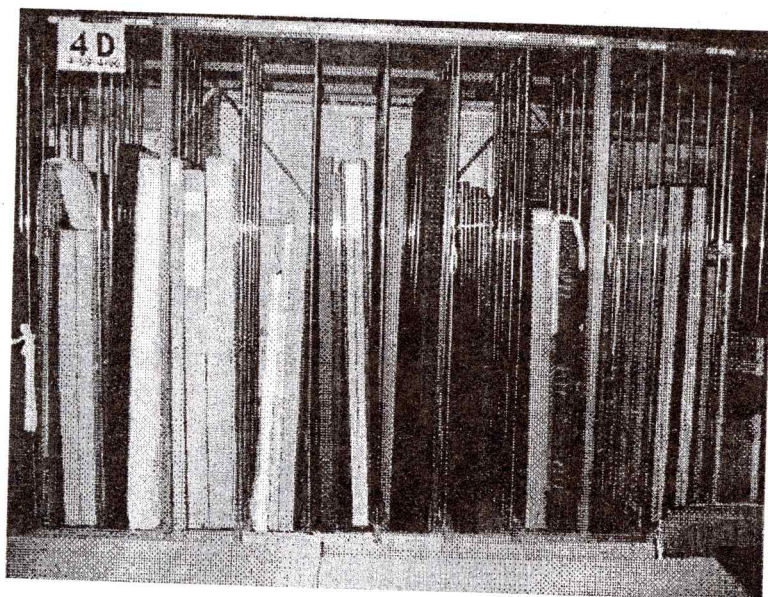
開館日の13時～16時に開室し、美術情報資料(図書、雑誌、図録、新聞等)の利用に供した。開館日数は301日、利用者は578名であった。また、各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、情報資料室等により、美術情報を提供した。

なお、21年度の収蔵図書については、138冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

美術総記	2,466冊
絵画	1,960冊
彫刻	300冊
工芸	410冊
書	204冊
版画	173冊
デザイン・建築	91冊
写真・映像	190冊
一般図書	527冊
合計	6,321冊



■ 調査・収集事業 ■



1 平成21年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
浅井忠	漁婦	美連協25周年記念展	東京都美術館 21. 4. 25～7. 5	読売新聞東京本社事業部 美連協
伊藤礼太郎	夜叉神解脱	第35回歩会彫刻展	千葉県立美術館 21. 4. 21～5. 6	歩会
浅見喜舟	崔子玉座右銘 蘭亭序(草書) 面壁九年	太玄会記念展	セントラル美術館 21. 5. 12～5. 17	太玄会
椿貞雄	八重子像	白樺派誕生100年記念 白樺派の愛した美術	京都文化博物館 21. 6. 6～7. 20	読売新聞大阪本社事業局 京都文化博物館
			宇都宮美術館 7. 26～9. 6	宇都宮美術館 ひろしま美術館
	自画像		ひろしま美術館 9. 13～10. 25	神奈川県立近代美術館
			神奈川県立近代美術館 11. 3～12. 20	
浅井忠	旅順戦後の搜索 従征画稿 スケッチブック(7) スケッチブック(8)	京都学「前衛都市・モダ ニズムの京都」1895－ 1930	京都国立近代美術館 21. 6. 9～7. 20	京都国立近代美術館
太田洋三	中央構造線風景	太田洋三展 対立と調和 が織りなす風景	市川市芳澤ガーデンギャ ラリー 21. 9. 5～10. 18	財団法人市川市文化振興 財団法人市川市芳澤ガーデン ギャラリー
	雨あがりの街			
深沢幸雄	胎動(メヒコ)	日本とメキシコ交流の歴 史—ロドリゴ漂着から 400年—	大多喜城分館 21. 9. 17～10. 25	千葉県立中央博物館大多 喜城分館
中西利雄	曇り日の離宮と駅 南仏風景	没後60年水彩画の革新 者 中西利雄とそのアトリエ	中野ゼロホール西館美術 ギャラリー 21. 9. 29～10. 8	中西利一郎
鶴田吾郎	濟州島にて 廟と老人 蒙古の女 憶ひ出の広安門	近代の東アジアイメージ	豊田市美術館 前期:21. 10. 10～11. 15 後期:21. 11. 17～12. 27	豊田市美術館
石井林響	木華開耶姫	神話—日本美術の想像力 —	奈良県立美術館 21. 10. 24～12. 24	奈良県立美術館
フォンタネージ	神女之図			
秋山逸生	蝶貝象嵌箱 薔芝山象嵌額 木画箱 菱華文象嵌長手箱 對 縞黒檀筆筒 カンナ芝山象嵌襟飾 蝶貝象嵌小箱	芝山象嵌と横浜芝山漆器	芝山町立芝山古墳・はに わ博物館 21. 11. 5～21. 12. 6	芝山町立芝山古墳・はに わ博物館
小堀進	冬晴の果樹園	庭園の記憶—与謝野晶子 の「松戸の丘」を園芸学 校の絵画—	松戸市戸定歴史館 21. 11. 21～12. 23	松戸市教育委員会社会教 育課美術館準備室

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
今関侑竹	ふるさと 山峡の水 秋花 石山 白雪 若草山 左千夫の歌	生誕100年記念「今関侑竹の書」作品展	銀座セントラル美術館 21. 11. 24～11. 29	藍筍会
秋山逸生	蝶貝象嵌箱 薔芝山象嵌額 木画箱 菱華文象嵌長手箱 對 縞黒檀筆筒 カンナ芝山象嵌襟飾 蝶貝象嵌小箱	第11回市川の文化人展 「人間国宝 秋山逸生・木象嵌の美と技」	市川市芳澤ガーデンギャラリー 22. 1. 23～2. 21	市川市文化国際部
松尾敏男	暦程	画業60年 松尾敏男回顧展	東京展日本橋三越本店 22. 2. 3～2. 15	日本経済新聞社文化事業局
吉田登穀	玉堂富貴	新春特別展「花鳥画」— 吉田登穀と狩野派の作品—	いすみ市郷土資料館 22. 1. 5～3. 28	いすみ市郷土資料館

2 平成21年度収蔵資料一覧 (平成22年3月31日現在)

《収蔵資料》

受入方法	購 入	寄 付	保管替	合 計
日本画	128	177	25	330
洋画	355	532	40	927
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	244	10	403
書	110	163	14	287
版画	175	76	5	256
合計	1,000	1,241	105	2,346

《研究資料》

研究資料	244	1,320	52	1,616
------	-----	-------	----	-------

3 平成21年度新収蔵資料一覧

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法(縦×横) cm
1	櫻田精一	サンマルコの鳩	1972	キャンバス・油彩	寄附	182.0×227.0
2	揚石舒雁	會津八一の和歌	1997	紙・墨	寄附	138.0×34.0
3	揚石舒雁	七言対句	1993	紙・墨	寄附	137.0×37.0
4	揚石舒雁	蘇東坡の七言律詩	1991	蠟箋・墨	寄附	52.0×190.0
5	辻元大雲	春はあけぼの	2009	紙・墨	寄附	136.5×625.2
6	辻元大雲	日伯移民百年に	2008	紙・墨	寄附	61.0×163.0

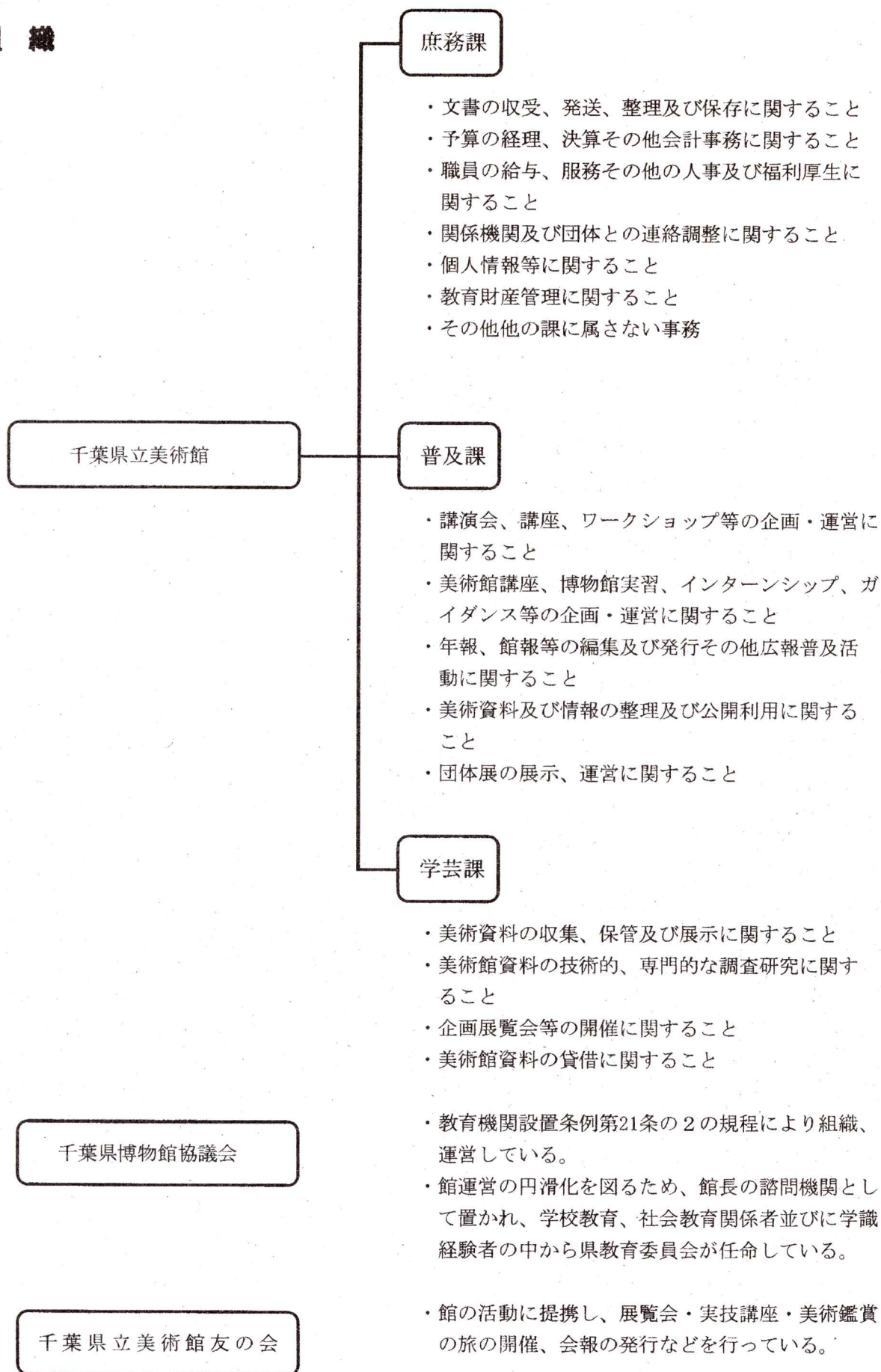
■ 管 理 運 営 ■

千葉県立美術館の使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

1 組織



2 平成21年度職員

館長	大熊一行
副館長	山本吉一
副館長	森尚登

庶務課

副主幹	常泉尚男
主査	高木清幸
副主査	森田樹子
主事	小倉寛敬
主任用務員	長島則子

普及課

普及課長	渡邊修一
上席研究員	相川順子
上席研究員	川村千津
上席研究員	荒井喜代美
研究員	高橋美代子

学芸課

学芸課長	金田雅成
上席研究員	谷鹿栄一
上席研究員	渋谷さゆり
上席研究員	石崎千津子

3 利用状況

平成21年度入館者一覧表

	開館 日数	入場者 計	個人									
			計	有料			無料					
				計	一般	高・大	計	一般	高・大	小・中	65歳以上	その他
4月	26	7,081	6,780	663	640	23	6,117	3,136	72	212	2,526	171
5月	27	10,101	10,043	891	843	48	9,152	4,439	109	559	3,561	484
6月	25	7,439	7,241	634	611	23	6,607	3,376	67	244	2,682	238
7月	27	10,197	9,770	826	768	58	8,944	3,838	106	1,240	3,217	543
8月	26	14,569	14,402	1,336	1,242	94	13,066	5,245	628	2,685	3,764	744
9月	26	9,570	9,146	1,053	982	71	8,093	3,630	207	722	3,041	493
10月	23	12,277	11,891	382	366	16	11,509	6,330	76	334	4,490	279
11月	24	13,469	13,111	140	134	6	12,971	6,999	486	458	4,765	263
12月	24	32,257	31,987	970	937	33	31,017	11,056	188	9,164	8,072	2,537
1月	24	14,446	14,199	1,307	1,276	31	12,892	5,630	80	1,750	4,574	858
2月	24	9,698	9,110	593	562	31	8,517	3,330	312	1,326	2,616	933
3月	26	7,526	7,367	641	606	35	6,726	3,224	87	477	2,617	321
合計	302	148,630	145,047	9,436	8,967	469	135,611	60,233	2,418	19,171	45,925	7,864

	開館 日数	計	団体									
			有料			無料						団体数
			計	一般	高・大	計	一般	高・大	小・中	65歳以上	その他	
4月	26	301	200	20	180	101	53	0	0	48	0	4
5月	27	58	6	6	0	52	9	0	0	19	24	2
6月	25	198	23	23	0	175	56	20	15	69	15	7
7月	27	427	102	102	0	325	16	0	160	131	18	12
8月	26	167	14	14	0	153	48	3	33	67	2	4
9月	26	424	94	94	0	330	35	0	71	224	0	6
10月	23	386	329	327	2	57	0	0	0	55	2	4
11月	24	358	0	0	0	358	73	0	42	242	1	9
12月	24	270	53	53	0	217	33	0	86	98	0	6
1月	24	247	39	39	0	208	29	0	49	128	2	6
2月	24	588	9	9	0	579	32	0	18	63	466	8
3月	26	159	6	6	0	153	39	0	78	36	0	6
合計	302	3,583	875	693	182	2708	423	23	552	1180	530	74

開館以来 総開館日数 10,415 日
前年度 10,113 日

その他＝(就学前児童)＋(身体障害者)
総入館者数 5,820,100 人
前年度 5,671,470 人

4 平成21年度団体展一覧

No.	展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1	第24回日本画四季展	3/31~4/12	日本画	62
2	第25回千葉県日本水彩展	3/31~4/5	水彩画	192
3	第79回郷陽会展	4/7~4/12	洋画	187
4	第23回ガラス絵コクリコ会展	4/7~4/12	ガラス絵	122
5	msb2009chiba35th展	4/20~4/25	洋画・日本画・デザイン・工芸等	50
6	第23回千葉水彩展	4/13~4/18	水彩画	85
7	第36回千葉新協美術展	4/21~4/26	洋画・日本画・版画	202
8	第23回カラダスト	4/21~4/26	洋画	60
9	第35回歩会彫刻展	4/28~5/6	彫刻	55
10	第36回千虹会日本画展	4/28~5/10	日本画	56
11	第41回表美展	5/8~5/10	表装	49
12	第33回墨の県展	5/12~5/17	水墨画	423
13	第49回千葉アマチュア美術会展	5/19~5/24	洋画・日本画・版画・書・彫刻・俳画・工芸等	1198
14	第54回二科会千葉支部展	5/26~5/31	洋画	688
15	第35回猊展	5/26~5/31	絵画・立体・工芸・写真	54
16	第56回千葉県書道協会展	6/2~6/7	書道	479
17	第12回千葉多摩美会展	6/9~6/15	油画・日本画・デザイン・工芸等	53
18	第32回千葉一陽展	6/9~6/15	油画	133
19	第13回仲間達展	6/9~6/15	油画・水彩画・版画・デッサン等	59
20	第31回新槐樹社千葉県支部展	6/17~6/21	洋画	36
21	第18回玄鳥書院展	6/17~6/21	書道	40
22	第37回水彩連盟千葉支部展	6/23~6/28	水彩画	130
23	千葉県小中学校書写展覧会	6/30~7/5	書道	847
24	第54回千葉二紀展	6/30~7/5	油画	90
25	第20回千葉県木彫会展	6/29~7/4	彫刻	49
26	第41回千葉市水墨画同好会連合会展	7/7~7/20	水墨画	533
27	第38回写真千葉県展	7/22~8/2	写真	320
28	第41回習美会初夏大作展	7/22~7/26	洋画・日本画・水墨画	254
29	〈明日を拓く〉教育美術展	7/22~7/26	洋画	234
30	第19回太平洋美術会千葉支部展	7/28~8/2	油画・水彩画・版画・彫刻・染織	179
31	第26回千葉県医師会美術展	7/28~8/2	油画等	105
32	第43回漱雲会全国書道展	7/28~8/2	書道	387
33	千葉県特別支援学校作品展	8/4~8/9	造形・絵画・写真・書道	426
34	第17回三軌会千葉支部展	8/4~8/9	絵画・写真	163
35	第38回千葉硯心会書	8/4~8/9	書道	47
36	第39回いてふ会彫刻展	8/4~8/16	彫刻	73
37	第一美術協会第41回千葉県支部展	8/18~8/23	絵画・彫刻・工芸	197
38	第6回なの花書道愛好会展	8/18~8/23	書道	684
39	第26回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/18~8/23	小・中学生絵画等	54
40	第47回新世紀千葉支部展	8/25~8/30	油画・水彩画・版画	182
41	第26回千葉中美展	8/25~8/30	油画・水彩画・日本画	72
42	第34回陽画会油絵展	8/25~8/30	油画	2633
43	第49回白扇書道会展	9/1~9/6	書道	

44	第32回等価会千葉県支部展	9/8~9/13	油画	39
45	第42回千葉県高等学校総合文化祭合同写真展	9/8~9/13	写真	723
46	第34回葉美会展	9/8~9/13	油画等	100
47	第59回千葉デザイン展2009	9/15~9/27	デザイン	143
48	第56回千葉県勤労者美術展	9/15~9/23	日本画・洋画・書・写真	239
49	第32回千葉県写真展	9/15~9/27	写真	279
50	第6回日本春秋書院千葉書道団展	9/29~10/4	書道	246
51	第39回新構造千葉支部展	9/28~10/4	絵画・写真・工芸	152
52	第29回二科会写真部第30回千葉支部展	9/28~10/4	写真	30
53	第20回千葉県教育芸術祭	10/6~10/12	総合芸術	1107
54	第61回千葉県美術展覧会(県展)	10/17~11/8	洋画・日本画・工芸・彫刻・書道	2661
55	第21回千葉県高等学校総合文化祭 「美術工芸書道作品展」	11/11~11/23	絵画・工芸・書道	2611
56	第42回千葉現展	11/25~11/29	絵画・デザイン・工芸等	65
57	第36回文化書道千葉県連合会公募展覧会	11/25~11/29	書道	354
58	第21回創造美術会千葉支部展	11/25~11/29	洋画・日本画・染織画・彫刻・陶芸	79
59	第5回伝統工芸陶葉会展	11/25~11/29	陶芸	93
60	第54回こども県展 (平成21年度千葉県児童生徒美術展覧会)	12/1~12/13	水彩画	9381
61	第21回平和を願う美術展	12/15~12/20	洋画・日本画・版画・写真・彫刻・工芸・陶芸等	298
62	第37回富士百景写真展	1/5~1/11	写真	105
63	第45回登龍社書初展	1/5~1/11	書道	231
64	第25回書星選抜展	1/12~1/17	書道	223
65	第10回東方国際美術展	1/19~1/24	水墨画・書道	120
66	第28回群鴉書人展	1/26~1/31	書道	39
67	第9回陶友会合同作品展	1/26~1/31	陶芸	265
68	千葉市小・中・特別支援学校	1/26~1/31		1382
69	児童生徒作品総合展覧会	2/2~2/7		463
70	第35回子ども造形展	2/2~2/7	油画等	1500
71	第62回千葉県小・中・高校書き初め展	2/2~2/7	書道	408
72	千葉大学教育学部美術科・図工科卒業制作展	2/9~2/14	絵画・彫刻・構成	45
73	千葉大学教育学部第44回学生書道展	2/9~2/14	書道	214
74	千葉日報書道展	2/16~2/21	書道	483
75	第21回日本童謡の書展	2/23~2/28	書道	1928
76	第39回千葉県大学美術連盟展	3/2~3/7	絵画・立体造形	101
77	第33回千葉県民写真展	3/2~3/7	写真	735
78	第8回キルトリーダーズ千葉パッチワークキルト展	3/15~3/21	パッチワークキルト	145
79	第15回翔洋展	3/9~3/14	油画	34
80	第13回平成美術会展	3/9~3/14	油画	190
81	ダネラ展	3/9~3/14	絨毯タペスリー等手工芸	43
82	第33回唱和会書展	3/16~3/14	書道	50
83	第57回書星教育部展	3/16~3/22	書道	906
84	第3回蒼騎会千葉支部展	3/24~3/28	油画	44
85	第5回千葉水墨画展	3/24~3/28	水墨画	286
86	千葉県幕張総合高等学校書道展	3/24~3/28	書道	81

5 施設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、珧器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m～2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランブを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防ぎ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収の亚克力拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx(平均)以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx(薄暗)から5,000lx(曇天)の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン(これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した)にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル(通過率53.6%)と黒地のジョーゼット(通過率35%)の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高200lxに抑えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：(株)竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業(株)

衛生＝第一管工事(株)

電気＝関東電気工事(株)

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積	33,057.87㎡
建築面積	8,777.94㎡
延床面積	10,663.57㎡
展示棟	6,343.02㎡
管理棟	2,818.89㎡
県民アトリエ棟	1,501.66㎡
駐車場台数	97台

〈工期及び建設経費〉

(1) 第1期工事(展示棟) 5,194.59㎡

(建築面積 5,102.35㎡)

○工 期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費 775,967千円

本体工事 425,230千円

電気設備工事 79,663千円

空調設備工事 166,493千円

給排水衛生設備工事 28,995千円

外溝工事 67,705千円

ガス工事 7,881千円

(2) 第2期工事(管理棟) 2,274.60㎡

(建築面積 1,089.50㎡)

○工 期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費 453,800千円

本体工事 307,500千円

電気設備工事 30,000千円

空調設備工事 79,000千円

給排水衛生設備工事 19,514千円

外溝工事 17,786千円

(3) 第3期工事(県民アトリエ) 1,501.66㎡

(建築面積 1,449.34㎡)

○工 期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費 370,000千円

本体工事 265,300千円

電気設備工事 35,000千円

空調設備工事 56,200千円

給排水衛生設備工事 13,500千円

○工 期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費 8,000千円

外構工事 8,000千円

(4) 第4期工事(第8展示室 1,148.43㎡

収蔵庫 544.29㎡) 1,692.72㎡

(建築面積 1,136.75㎡)

○工 期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費 747,500千円

本体工事 476,000千円

電気設備工事 81,000千円

空調設備工事 171,000千円

給排水衛生設備工事 19,500千円

総工事費 2,355,267千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL－5.00m

高 さ：GL＋15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋 根：鉄骨造

主 鋼 材：SS41 及び高張力鋼

コンクリートの種類

A種・普通コンクリート(基礎・地中梁・1階スラブ)

$F_c = 210\text{kg}/\text{cm}^2$

B種・軽量コンクリート(梁・スラブ用・地上部)

$F_c = 300\text{kg}/\text{cm}^2$

C種・軽量コンクリート(地上部躯体でAB以外の梁・壁など) $F_c = 240\text{kg}/\text{cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受電方式：交流3相3線式 6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟＝CAV(定風量型)＋VAV(可変風量型)方式

管理棟＝VAV方式

保管庫＝露点再熱制御方式

県民アトリエ棟＝各室ハンドリング方式

熱 源：空気熱源スクリュウ熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給 水：ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排 水：汚水・雑排水合流方式系統(管径300)、雨水系統(管径300)別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙(第1、2、7展示室)

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備(ハロゲン1301)

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

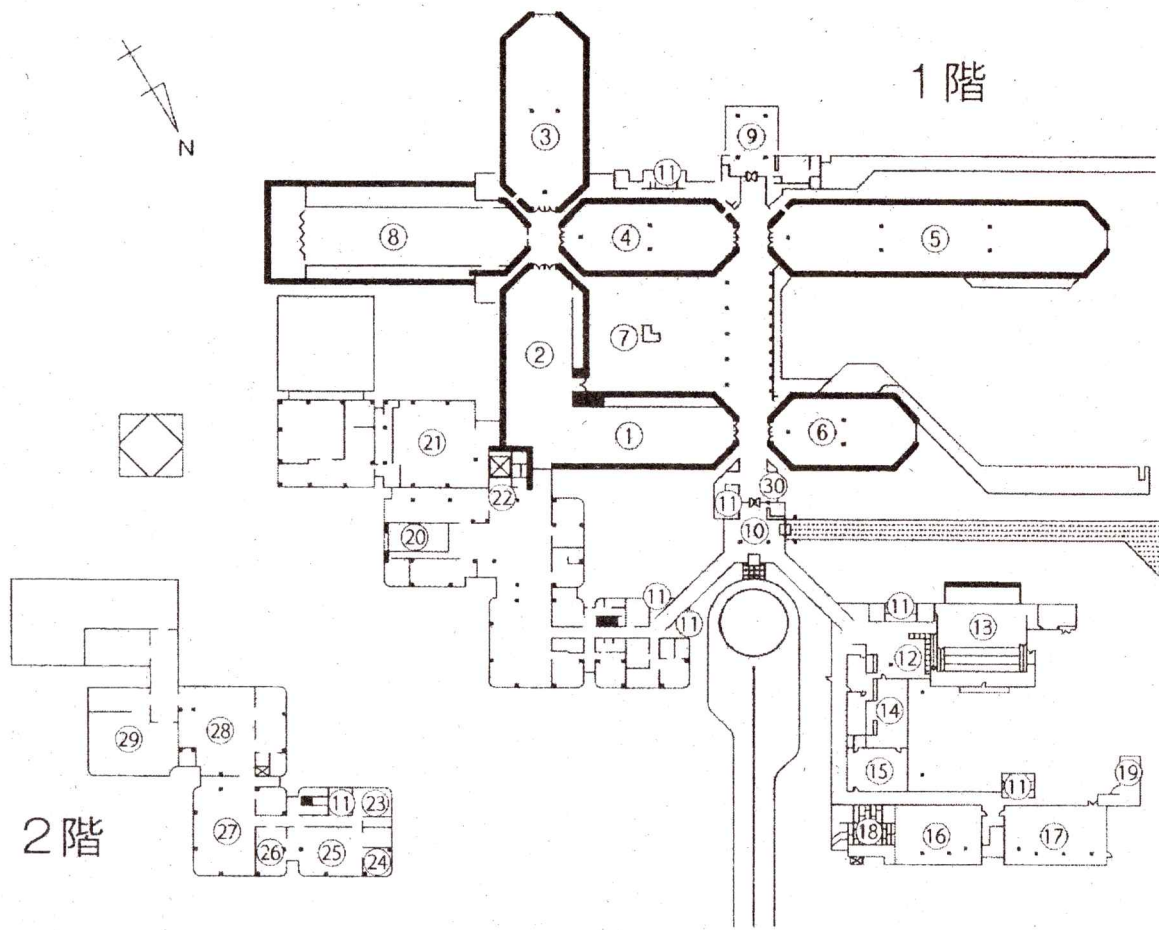
規 模：容量3,000kg

カゴ内法＝3,000mm×3,000mm×3,000mm

速度30m/min

展示棟		管理棟		県民アトリエ棟	
玄関ホール	102.40㎡	(1階)		1F機械室	25.92㎡
クローク	91.80㎡	第2会議室	22.62㎡	講堂倉庫	8.64㎡
倉庫A	2.70㎡	更衣室	14.38㎡	講堂	259.24㎡
倉庫B	2.70㎡	医務室	21.18㎡	コントロール室	30.33㎡
第1展示室	437.76㎡	書庫	22.02㎡	ホール側便所	29.97㎡
第2展示室	400.32㎡	警備員室	43.59㎡	情報資料室	172.77㎡
第3展示室	469.08㎡	第1会議室	20.15㎡	情報資料室倉庫	4.70㎡
第4展示室	403.20㎡	倉庫	7.19㎡	事務室	22.76㎡
第5展示室	824.19㎡	湯沸室	5.19㎡	研修室	74.70㎡
第6展示室	330.58㎡	便所	24.54㎡	研修室倉庫	4.23㎡
第7展示室	566.56㎡	宿直室	34.20㎡	第1アトリエ	155.70㎡
第8展示室	864.61㎡	物置	9.92㎡	第2アトリエ	184.31㎡
食堂	119.52㎡	用務員室	31.83㎡	第3アトリエ	95.47㎡
厨房	36.00㎡	審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡	アトリエ側便所	20.77㎡
従業員控室	17.28㎡	消毒室	31.79㎡	荷解室	25.65㎡
食堂ホール	49.20㎡	資料倉庫	124.25㎡	窯場	27.17㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡	荷解梱包室	52.67㎡	窯場倉庫	6.66㎡
ロビー	335.52㎡	荷扱入室	21.94㎡	ホールその他	352.67㎡
第1休憩室	23.04㎡	機械室	51.74㎡	計 ③	1,501.66㎡
第2休憩室	23.04㎡	廊下等	123.97㎡	合 計	10,663.57㎡
第3休憩室	23.04㎡	小 計	1,183.85㎡	(①+②+③)	
便所A	30.24㎡	(2階)			
便所B	23.76㎡	館長室	33.27㎡	〈参考〉	
身障者用便所	7.92㎡	副館長室	23.42㎡	*展示室総面積	4,296.30㎡
コントロール室	20.16㎡	第1応接室	14.67㎡	*収蔵庫総面積	771.50㎡
フィルター室	28.92㎡	第2応接室	14.55㎡		
工作室	31.00㎡	庶務課室	112.34㎡		
発電気室	25.00㎡	会議室	43.84㎡		
電気室	123.20㎡	学芸課・普及課室	195.32㎡		
ポンプ室	76.80㎡	学芸相談室	23.91㎡		
機械室	305.20㎡	研究工作室	216.49㎡		
機械室(新)	283.82㎡	写真スタジオ	54.30㎡		
高架水槽室	11.46㎡	器材室	6.74㎡		
E. V機械室	27.28㎡	暗室	12.19㎡		
E. V廻り	54.56㎡	第1収蔵室	184.40㎡		
ダクトスペース	35.68㎡	第2収蔵室	42.81㎡		
廊下等	123.48㎡	第3・4収蔵室	544.29㎡		
計 ①	6,343.02㎡	E. V前室	16.39㎡		
		便所	21.50㎡		
		湯沸室A	3.24㎡		
		〃 B	6.87㎡		
		廊下等	60.94㎡		
		ダクトスペースその他	3.56㎡		
		小 計	1,635.04㎡		
		計 ②	2,818.89㎡		

施設平面図



- | | | | |
|-------|---------------------------------------|----|------------|
| 1～8 | 展示室 | 19 | 窯場 |
| 9 | 食堂 (44 席) | 20 | 搬出入口 |
| 10 | 玄関ホール | 21 | 機械室 |
| 11 | トイレ 男子用 6 ケ所
女子用 6 ケ所
身障者用 2 ケ所 | 22 | エレベーター |
| 12 | ホール | 23 | 館長室 |
| 13 | 講堂 (200 人) | 24 | 副館長室 |
| 14 | 情報資料室 | 25 | 庶務課 |
| 15 | 研修室 (40 人) | 26 | 会議室 |
| 16～18 | 実技室 | 27 | 学芸課・普及課 |
| | | 28 | 研究工作室 |
| | | 29 | 収蔵庫 |
| | | 30 | ミュージアムショップ |

平成 21 年度利用案内

■開館時間

開館時間 午前9時から午後4時30分
休館日 月曜日(ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館)
年末年始(12月28日～1月4日)
10月10日～12日、23・24日、11月6日

■入場料(※0内は20名以上の団体料金)

常設展 一般 300円(240円)
高校・大学生 150円(120円)
小・中学生 無料
65歳以上 無料

「櫻田精一展 生誕100年-響きあう光・水・風を描く-」

一般 500円(400円)
高校・大学生 250円(200円)
小・中学生 無料
65歳以上 無料

■交通

電車・モノレール・バス

★JR(京葉線)・千葉都市モノレール

「千葉みなと」駅下車、徒歩10分

★JR「千葉」駅・京成線「京成千葉」駅下車

徒歩23分

バス②番乗り場から「千葉ポートタワー」行にて15分。「美術館・中央郵便局」下車、徒歩1分

自動車

★〈東京方面から〉

東関東自動車道「湾岸習志野」ICから約20分★〈成田方面から〉

京葉道路「穴川」ICから約20分

★〈東金方面から〉

京葉道路「松ヶ丘」ICから約20分

平成 21 年度 千葉県立美術館年報 (No. 36)

平成 23 年 3 月 31 日発行

発行者 千葉県立美術館

〒 260-0024 千葉市中央区中央港 1 丁目 10 番 1 号

Tel 043(242)8311

Fax 043(241)7880

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>
